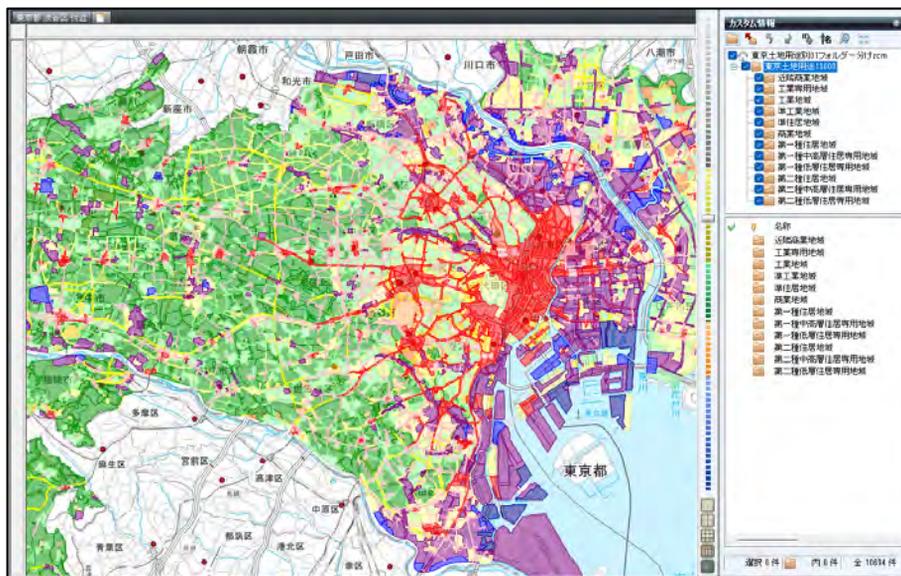


スーパーマップル・デジタル 速攻ダイジェスト版

【情報の取込において】

「国土数値情報ダウンロードサービス」(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>)から、[ポリゴン] [テキスト] データをダウンロードし、参考データとして使用しております。



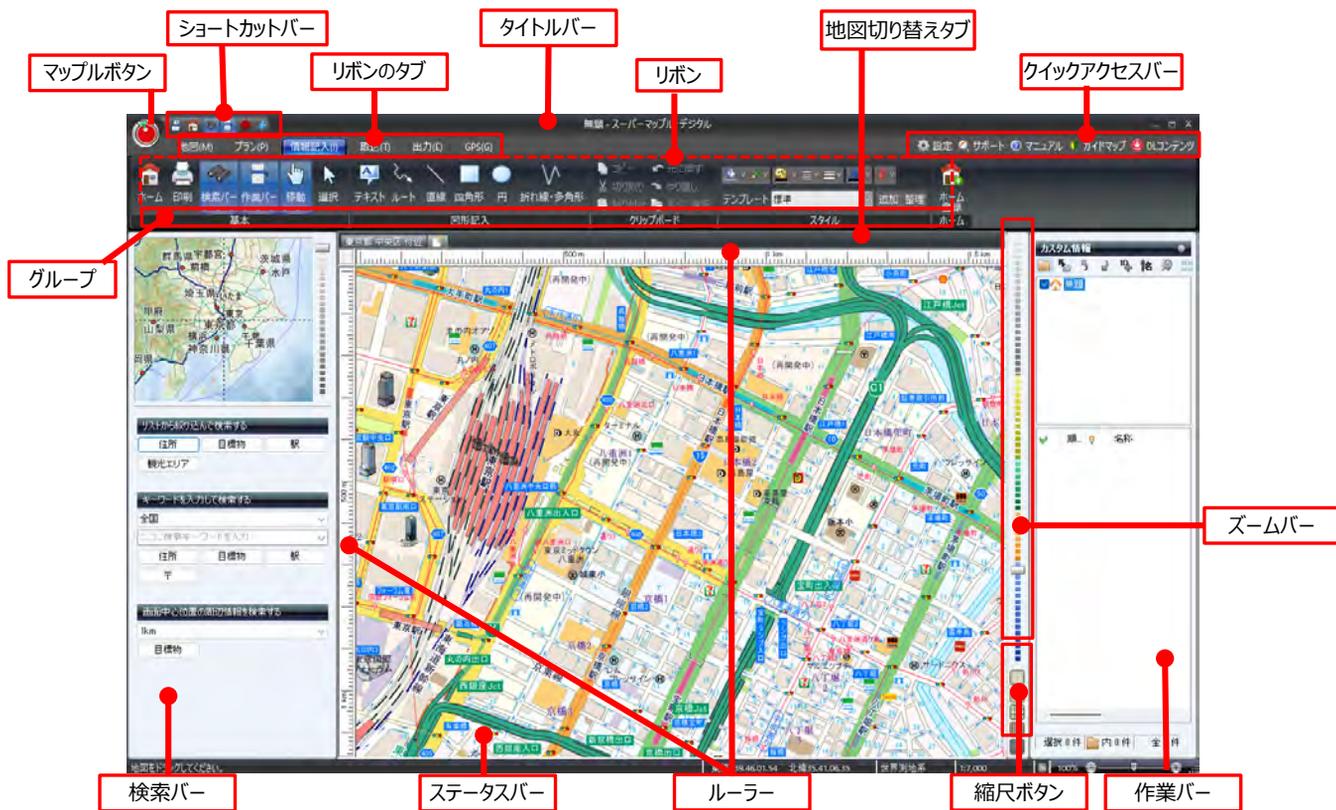
CONTENTS

基本 & 地図 表示	スーパーマップル・デジタルの基本構成	2
	情報を見やすく_地図スタイルの変更	3
	情報記入_「カスタム情報」	3
情報 取込 & 編集	情報の編集	8
	情報の削除	9
	テキスト情報取込み_Excel形式、CSV形式	10
	KML/GeoJSON/SHPの「テキスト」ファイル取込みとデータ/フォルダー整理	14
	KML/GeoJSON/SHPの「ポリゴン」ファイル取込みとデータ/フォルダー整理	19
画像 取込 & グラフ & その他	各種グラフの作成	25
	「行動計画」プランニング	27
	地図の各種印刷	29
	画像データ（情報）の取込み	30
	KML/GeoJSONファイル出力	31
	行政区域内の状況を把握する	32
	「外部のWebサイトの連携」スーパーマップルデジタルから外部サイトを直接開く	34

****ご了承ください****
画像イメージは開発中のものも含まます

■さらに詳しく調べるには■
 クイックアクセスバーにある 設定 サポート マニュアル ガイドマップ を参照して下さい。
 本書で紹介しきれない詳細な使い方・操作方法などが掲載されています。

■スーパーマップル・デジタルの基本画面構成



各操作ボタンの役割 赤字の項目は、よく使用する項目です。

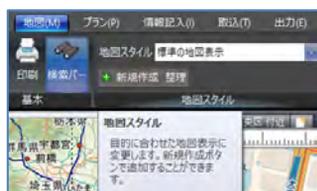
- 【**マップルボタン**】 基本的なファイル操作で「新規」、「開く」、「保存」、「終了」などを行います。
- 【**ショートカットバー**】 リボンを最小化し、地図エリアを広くし操作するとき、使用します。
- 【**リボンのタブ**】 操作を目的別に整理したものです。
- 【**リボン**】 各操作を行うためのアイコンを示します。
- 【**地図切り替えタブ**】 地図表示エリアを登録し、切替表示ができます。
- 【**クイックアクセスバー**】 基本設定や「マニュアル」「ガイドブック」表示、「サポート」情報など確認できます。
- 【**グループ**】 操作時のアイコンをグループ分けしたものです。
- 【**検索バー**】 住所や施設名称から、該当の場所へ地図移動するとき使用します。
- 【**ステータスバー**】 操作時のメッセージなど表示されます。
- 【**ルーラー**】 表示されている地図範囲の距離を表示。
- 【**作業バー**】 情報の操作には必要な欄で、情報の取得・記入・表示・整理するとき使用します。
- 【**ズームバー**】 地図を広域から詳細まで、拡大縮小いたします。下部の[縮尺ボタン]で各色に設定された縮尺を表示します。

★操作時の参考

- ・検索バーが表示されていない場合、「基本」グループより、 を選択すると表示できます。
- ・作業バーが表示されていない場合、「基本」グループより、 を選択すると表示できます。

【ポイント】

- ・各操作アイコンにマウスを置くと、操作をわかりやすくナビゲートする、アイコンの意味・目的が表示されます。



■ 情報を見やすく_地図スタイルの変更

地図の活用する上で、目的別に判断が行いやすい地図の表示方法を変更することができます。

- ① [地図]の[地図スタイル] の  をクリックし、目的にあった地図スタイルを選択することができます。



■ 情報記入_「カスタム情報ファイル」

カスタム情報とは、地図上に名称（タイトル）としてアイコンと文字（または画像）を表示し、内部に住所やコメントや写真、動画、EXCELファイル、PDF、Webリンクを持つことができる「情報ファイル」で拡張子を「*.rcm」で表します。
★初期状態（デフォルト）では、テキスト作成時の動作は、カスタム情報記入ウィザードを開くように設定されています。

- ① [情報記入]を選択し、[テキスト]  をクリックします。



・地図上にマウスカースルをもってくと、 の形になりますので、記入位置でクリックします。



【参考】

・[テキスト]ボタンのアイコンを Wクリックすると連続して情報記入ができるようになります。

- ② 「カスタム情報記入ウィザード」ダイアログが表示されます。
 入力するカスタム情報の種別にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

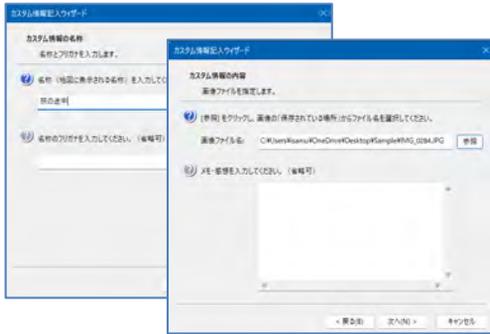
【参考】

- ・「**文字情報の入力**」を選択した場合は「**基本情報**」だけの記入になります。
- ・他の項目は「**基本情報**」+「**各種情報**」が埋め込まれます。
- ・「**今後、入力ウィザードを使用しない**」をチェックすると、次回以降の情報記入はダイレクト記入の「**プロパティ**」を利用します。

- ③ カスタム情報に設定する名称とフリガナを入力し、[次へ]をクリックします。

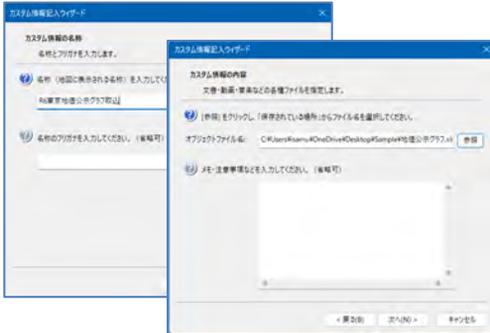
- ④ 「**文字情報の入力**」を選択した場合は「**基本情報**」だけの入力になるので、ここで入力は終了し⑥へ進みます。

⑤ 他の項目を選択した場合は、「基本情報」プラス下記の画面に従い入力してください。



・「デジカメの写真・画像ファイルなど」の場合

[参照]をクリックし、カスタム情報に埋め込む写真・画像などのファイルを選択します。



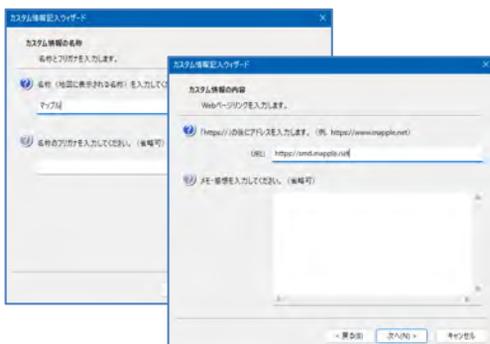
・「Word・ExcelやPDF等の文書、映像や音楽」の場合

[参照]をクリックし、カスタム情報に埋め込むEXCELファイル・文書・映像・音楽などのファイルを選択します。



・「画像、文書・動画・音楽などのファイルを一緒に」の場合

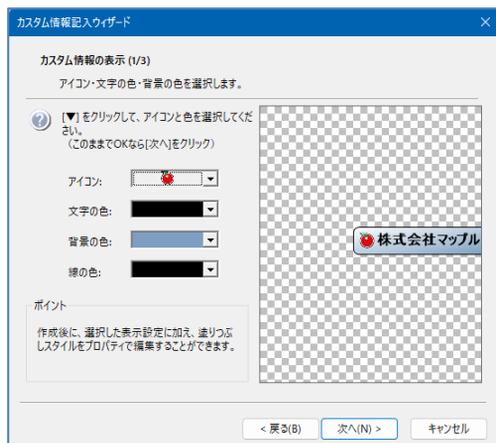
[参照]をクリックし、カスタム情報に埋め込む画像ファイルおよび文書・映像・音楽などのファイルを選択します。



・「ホームページとの接続」の場合

「http://」の後に、ホームページのアドレスを入力します。

⑥ アイコン、文字の色、背景の色を設定します。



- ・地図上に表示されるカスタム情報のアイコン、文字の色、背景の色、枠線の色を選択し、[次へ]をクリックします。

⑦ 引き出し線の有無・方向を必要なら設定し、[次へ]をクリックします。



⑧ アイコン・写真・名称・コメントの表示／非表示など、テキストの表示種類を選択します。



- ・初期値は「アイコンと名称」が表示される「名称」なっております。
- ・画面の例では、「名称+備考」を選択しています。
(基本情報とコメント全て表示されます)

⑨ 最後に [完了] をクリックします。



⑩ 「名称」のみの表示の場合は、「名称」をクリックすると内容が表示されます。



・「Webページリンク」が記入されている場合は、下記のようなメニューが表示されます。

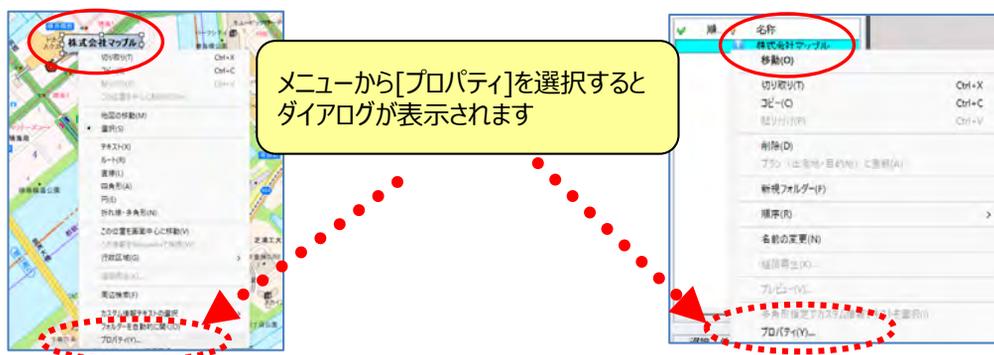


⑪ カスタム情報を保存するには【マップルボタン】をクリックし、[名前を付けて保存]を選択します。保存した「カスタム情報」を表示するには、[開く] をクリックします。

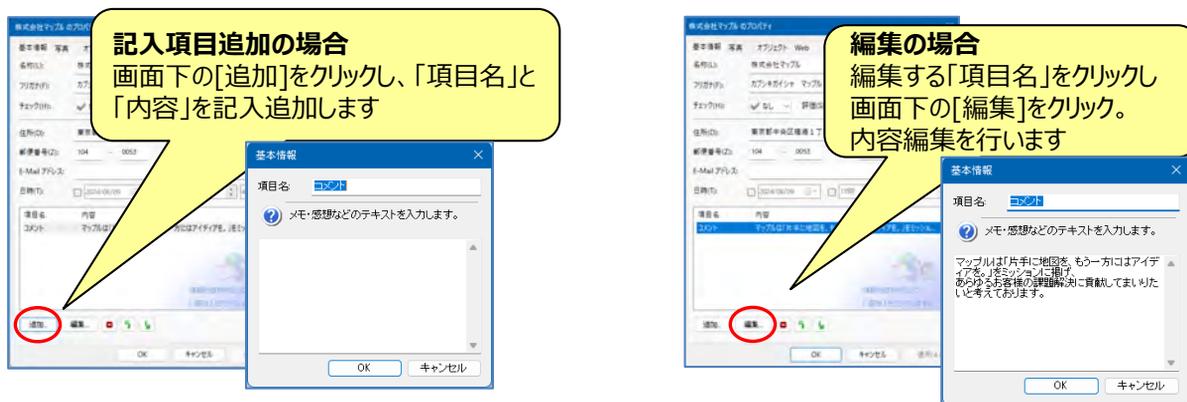


■情報の編集

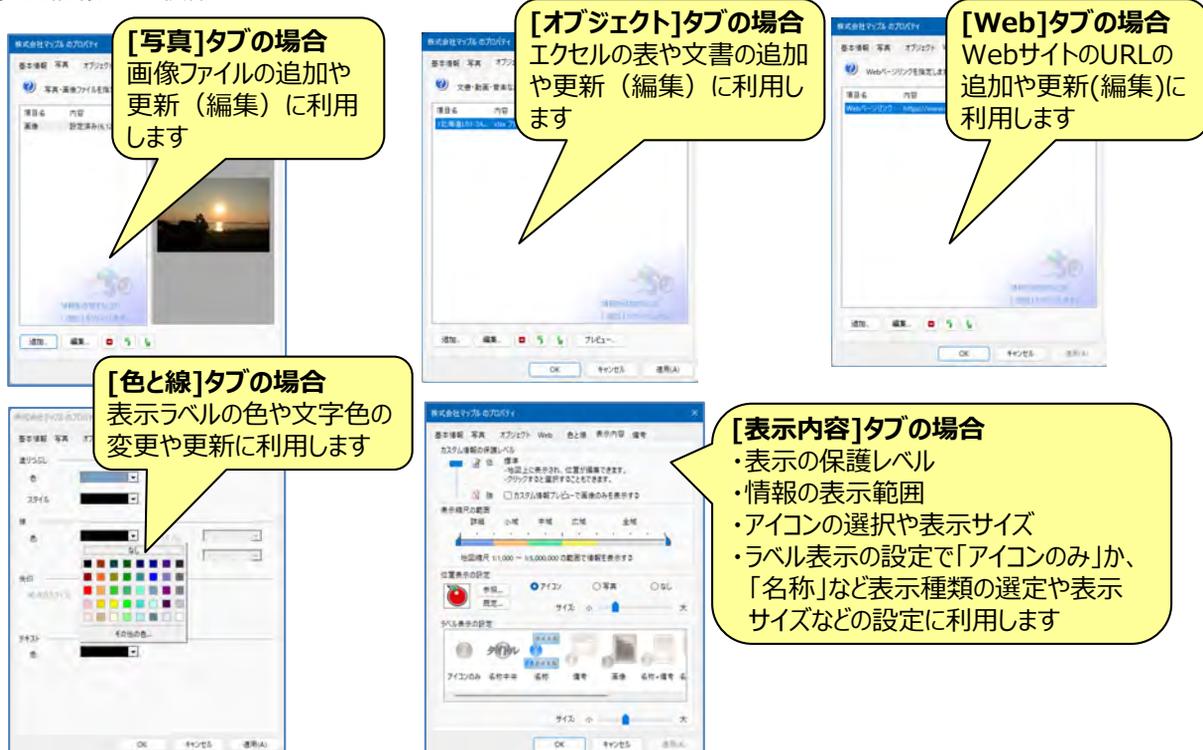
- ① [選択モード] でカスタム情報の名称上でクリックし、 (選択状態) となった上で右クリック。又は、右の「名称」欄から該当する「名称」を右クリックし、[プロパティ]を選択してください。



- ② 基本情報の編集・追加の「タブ」を選択します



- ③ 各情報タブの役割



④ ラベル（名称）の位置と引出線の変更



・カスタム情報テキストの位置を変更するには、選択モードにして選択状態の「名称」の上でマウスが  に変わりますので、そのままドラッグします。

★引出線をつけて 地図上の注記や他の「名称」と重ならないように配置することができます。



・位置移動は、アイコン中央に表示されている「黄色いひし形」のマーカの上でマウスが  に変わりますので、ドラッグして位置を変更できます。

■ 情報の削除

① 「カスタム情報」欄の該当名称の上で、右クリックし、メニューから[削除]を選択します。



該当名称を、右クリックします

■テキスト情報の取込み

【テキスト情報への取り込みとは】

Excel形式やCSV形式で顧客管理、販売管理、施設管理など、住所を含む情報をスーパーマップル・デジタル上にカスタム情報として取り込むことができます。

顧客名	フリガナ	郵便番号	住所1	住所2	住所3	住所4	電話番号	E-mail	URL	年齢 (千円)
1	中野 雅文	141-0022	東京都	文京区	白山 5-3-13	観亀ハイタ 303号	03-9871-5301	nakano@mail.aaa01.http://www		1,500
2	佐々木 眞	141-0022	東京都	文京区	白山5丁目3番地1号	第七白馬ビル1F	03-9871-5302	sasaki@mail.aaa03.com		3,200
3	小山田 石井	144-0051	東京都	北区	神谷 1-3-1-4		03-9872-5303			5,000
4	山崎 悠	125-0035	東京都	豊島区	東横 3-1-7-2	ジャンブル石山ビル 1F	03-9873-5304	yamazaki@mail.aaa04.ne.jp		6,000

【ご注意】

一度に取り込めるデータ件数は、データ内容の容量と機種能力により異なりますが、**最大6万5千件**までです。

【取り込み前の確認事項】

項目設定時のポイント

CSV形式の場合は、取込に不要な行を削除してください。

例：CSV形式のデータの場合は、上の1行が不要、2行目が必要な項目になります。

xlsx形式の場合は、調整ができ削除の必要はありません。

※エクセルのxlsx形式での取込をお勧めします。

削除前は、項目が正しく設定できません

区切り文字
 タブ(T) セミコロン(M) カンマ(C)
 スペース(S) その他(O):

引用符の文字列(Q):

連続した区切り文字は1文字として扱う(R)
 先頭行をフィールド名として扱う(L)

データのプレビュー

【取引先一覧】	列2	列3	列4	列5	列6
顧客名	フリガナ	郵便番号	住所1	住所2	住所3
ホテル 鏡月	ホテル キョウゲツ	167-0054	東京都	北区	志
樋口	ヒグチ	154-0024	東京都	豊島区	青
クイーンズホテル	クイーンズ ホテル	102-0071	東京都	板橋区	青
静蓮	スズレン	152-0022	東京都	杉並区	青
あまの屋旅館	アマノヤカ	369-1873	東京都	豊島区	青

削除後は、項目が正しく設定できます

区切り文字
 タブ(T) セミコロン(M) カンマ(C)
 スペース(S) その他(O):

引用符の文字列(Q):

連続した区切り文字は1文字として扱う(R)
 先頭行をフィールド名として扱う(L)

データのプレビュー

顧客名	フリガナ	郵便番号	住所1	住所2	住所3
ホテル 鏡月	ホテル キョウゲツ	167-0054	東京都	北区	志
樋口	ヒグチ	154-0024	東京都	豊島区	青
クイーンズホテル	クイーンズ ホテル	102-0071	東京都	板橋区	青
静蓮	スズレン	152-0022	東京都	杉並区	青
あまの屋旅館	アマノヤカ	369-1873	東京都	豊島区	青
焼き鳥 志	ヤキトリヒ	251-0047	東京都	杉並区	青

Xlsx形式に場合は、調整ができます

読み込み対象シート(S): 顧客台帳00

開始行(R): 開始列(C):

先頭行をフィールド名として扱う(L)

データのプレビュー

【取引先一覧】	列2	列3	列4	列5	列6
顧客名	フリガナ	郵便番号	住所1	住所2	住所3
ホテル 鏡月	ホテル キョウゲツ	167-0054	東京都	北区	志
樋口	ヒグチ	154-0024	東京都	豊島区	青

読み込み対象シート(S): 顧客台帳00

開始行(R): 開始列(C):

先頭行をフィールド名として扱う(L)

データのプレビュー

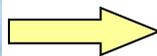
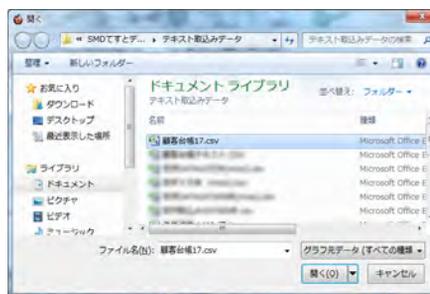
顧客名	フリガナ	郵便番号	住所1	住所2	住所3
ホテル 鏡月	ホテル キョウゲツ	167-0054	東京都	北区	志
樋口	ヒグチ	154-0024	東京都	豊島区	青

正しく設定

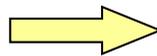
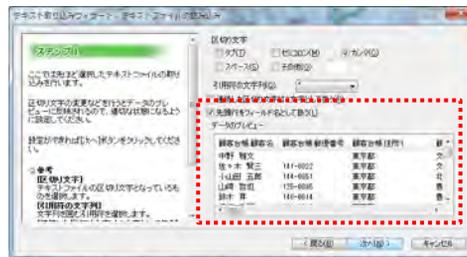
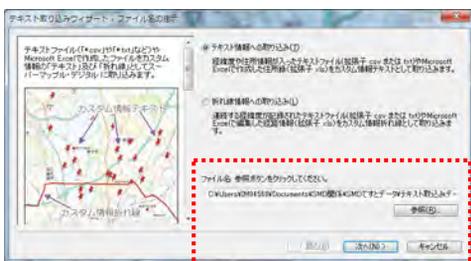
① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブの[テキスト]をクリックします。



② 「テキスト情報への取り込み」を選択し、[参照]をクリック「取り込む」ファイル (*.csv、*.xlsx) を選択し、[開く]をクリックします。(例：*.csvデータ)

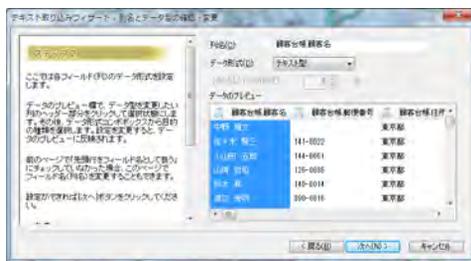


③ 「取り込み」を確認後、「次へ」をクリック。
[ステップ1] で、テキストファイルの『区切り文字』を選択し、取り込み設定を確認した後、「次へ」をクリックします。を設定します。初期値はCSVに対応した「カンマ」に設定されております。

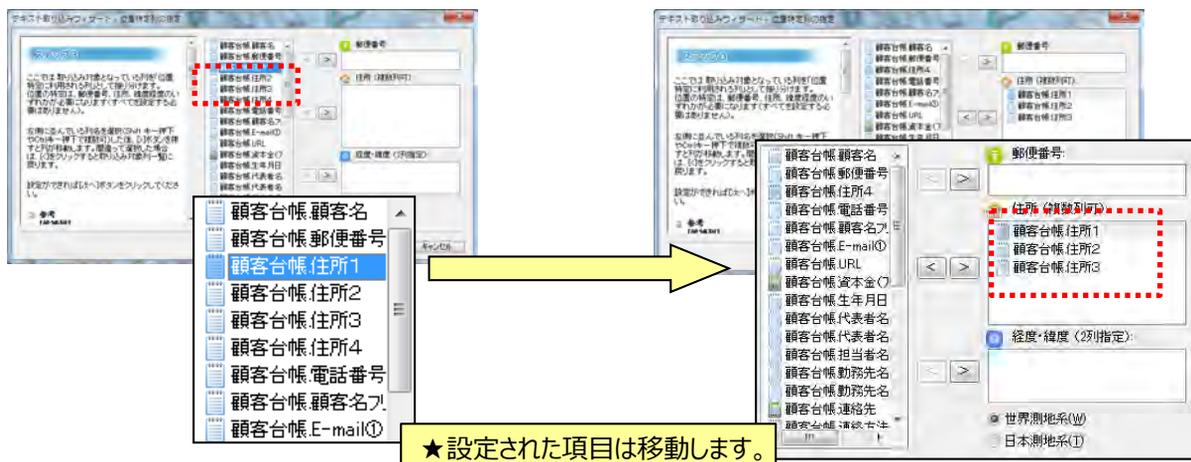


- ★[先頭行をフィールド名として扱う]の意味は先頭行をフィールド名（項目名）として取り込みます。
- ・先頭にフィールド名が無い場合は、自動的にフィールド番号が付与されます。
- ・[区切り文字]が不明の場合、プレビュー画面を見ながら設定してください。

④ [ステップ2] は、各列（項目名）のデータ形式の確認をします。



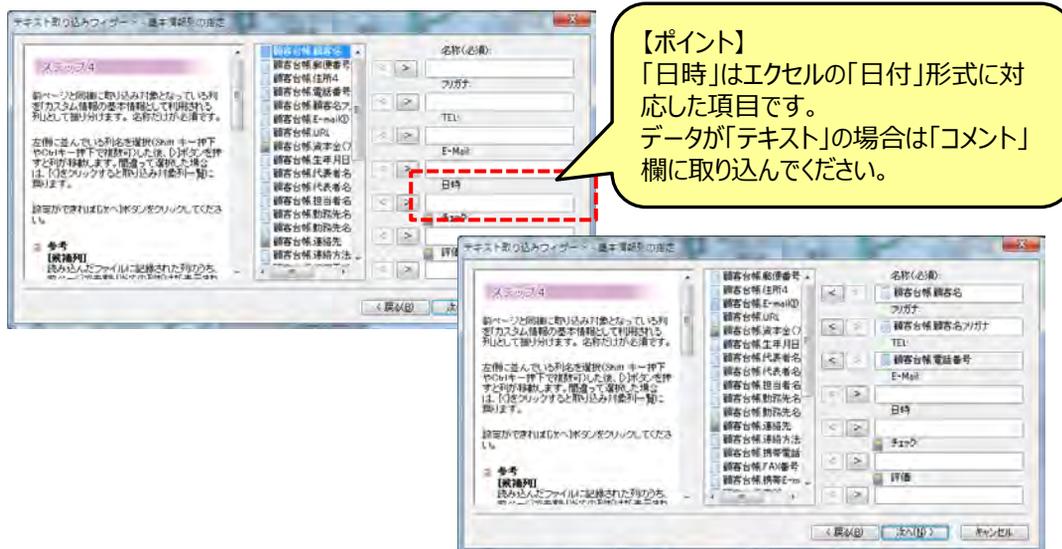
- ⑤ [ステップ3] は、表示位置を特定するために、「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します。
 (例：住所で「位置表示」)



【重要】

テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度・緯度）の設定が必須です。

- ⑥ [ステップ4] は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。

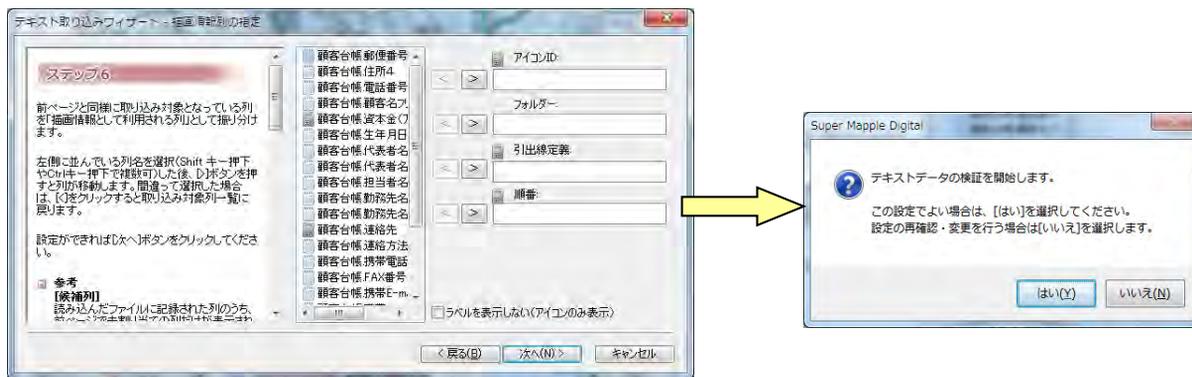


★取込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の画面で「コメント」欄で取り込みます。

⑦ [ステップ5] は、「取込み」欄にない項目を「コメント」欄に取込みます。複数の項目を取り込むことができます。

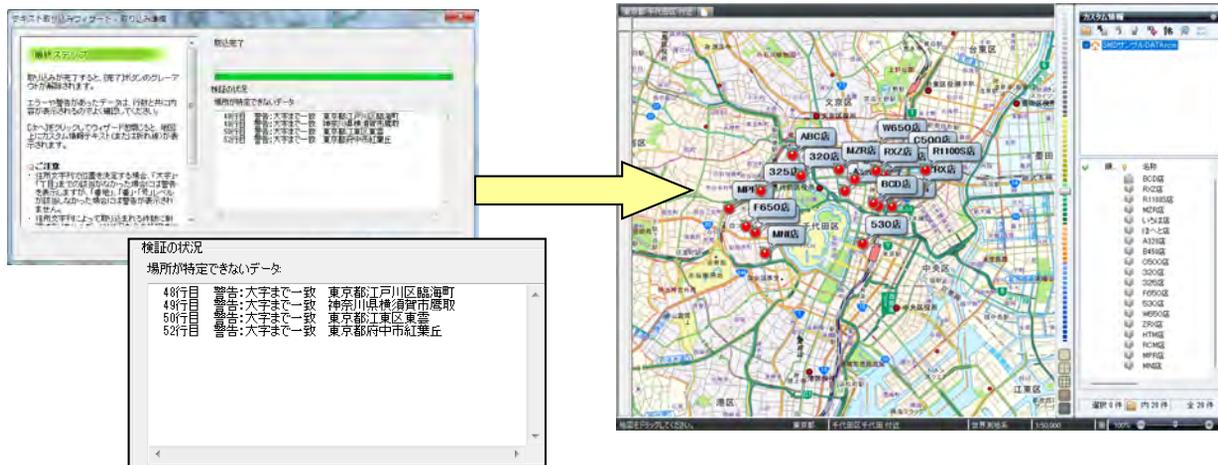


⑧ [ステップ6] は、スーパーマップル・デジタルで作成した情報をCSV出力した情報を取込むときのステップなので、今回は使用せず、「次へ」⇒ [はい] をクリックしますと、テキストデータを検証し、取込みを開始します。



⑨ [最終ステップ] は、取込み後の状況を表示します。

・「大字」「市区町村」までしか、一致しなかった場合には警告を表示しますが、「番地」、「番」・「号」レベルまで一致した場合は警告を表示しません。



【住所による取り込みについてのご注意】

・東京都や大阪府などの特別政令指定都市、政令指定都市や、その他の県などは、その土地の住所体系が違うため、若干警告の表示内容が違いますのでご了承ください。

■ KLM/GeoJSON/SHPの「テキスト」ファイル取込みとデータ/フォルダー整理 (GeoJSONはV22以降/SHPはV25以降)



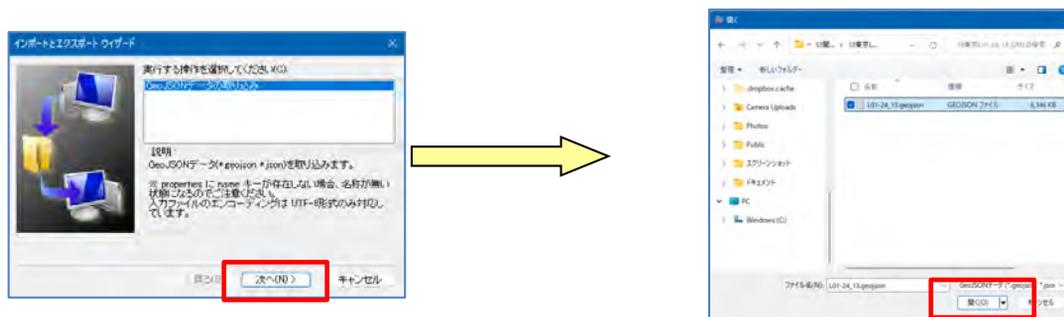
【参考】

都道府県別に全国の「ハザード関係」「地価公示/調査」「用途地域」などは、スーパーマップル・デジタルですぐに使える編集済オープンデータ無料ダウンロードサイト <https://biz.mapple.com/smd-rcm/> から編集済みのデータを無料でダウンロードできます。

- ① [取込]の[KML/GeoJSON/shp]をクリックします。



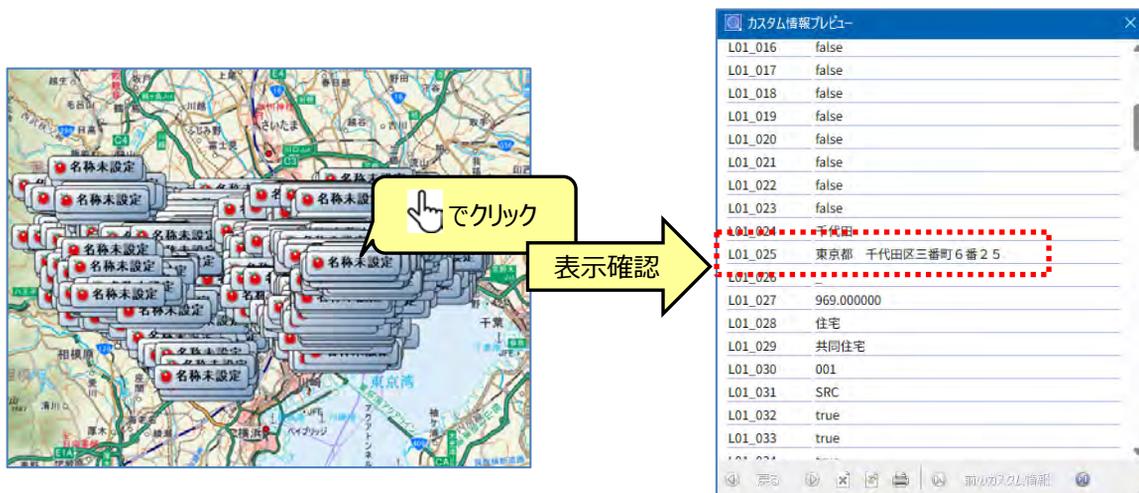
- ② 「KML/GeoJSON/SHPの取込み」を確認し、[次へ]ボタンを選択し、任意のKML/GeoJSON/SHPのファイル開きます。
例：国土数値情報のオープンデータ「L01-24_13.geojson」を取込使用します。



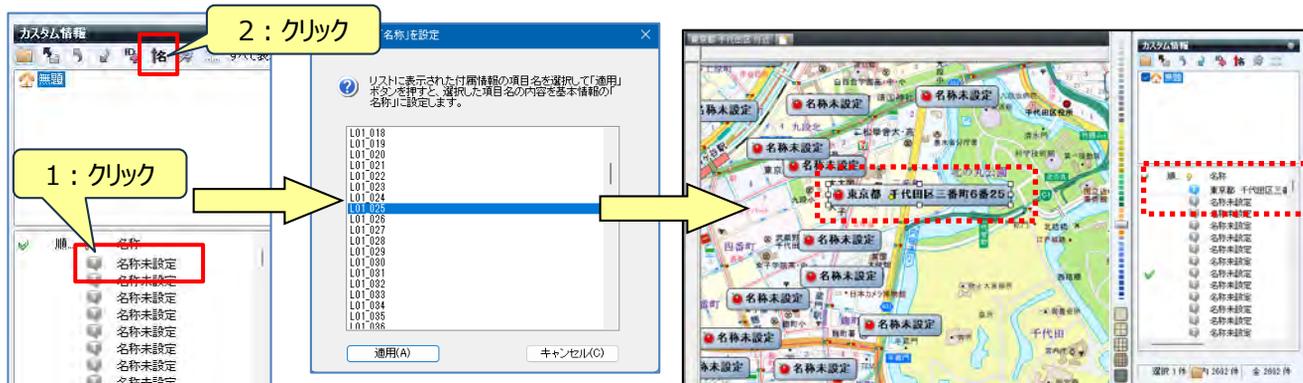
【参考】

政府が公開しているオープンデータサイト「国土数値情報ダウンロードサービス」(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>) から、ダウンロードできます。

- ③ カスタム情報の「名称」変更は、 で任意のデータをクリックし行います。
 事前にカスタム情報プレビューから「名称」にする「項目」を確認しておく、作業が行いやすくなります。
 例、国土数値情報のオープンデータ「L01-24_13.geojson」などは、「名称」がなく、取込時には「名称未設定」となります。



- ④ [名称] 欄の「1 : クリック」の「名称未設定」をクリックし、[カスタム情報] 欄上の「2 : クリック」の をクリックし、変更したい項目を選択し、「適用」をクリックすると項目内容に記載されている文字に変更されます。



【参考】複数のデータ、すべてのデータを一括で「名称設定」する場合

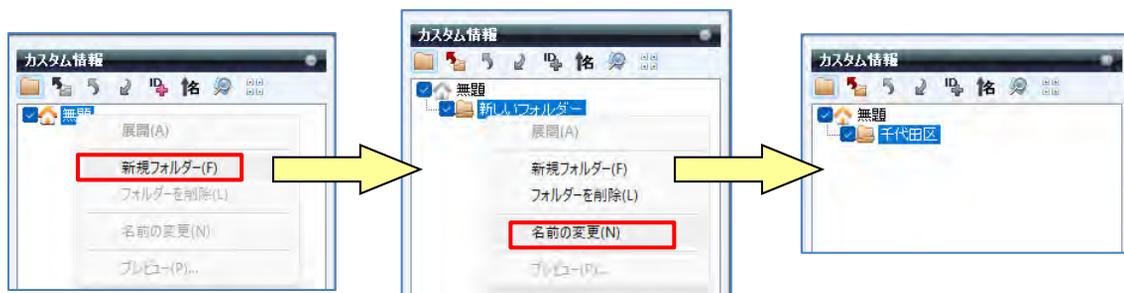
[Ctrl+該当データ]で複数選択



[Ctrl+A]ですべて選択

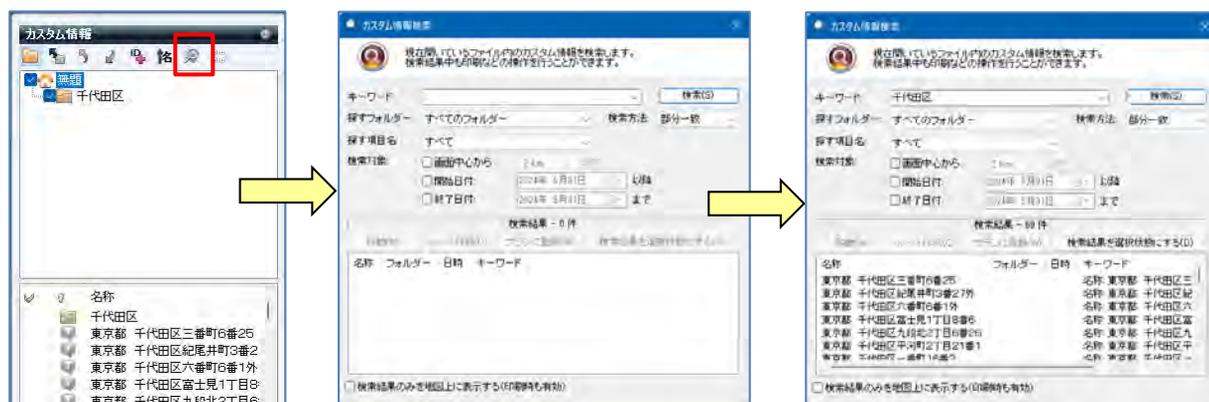


- ⑤ 「カスタム情報」をフォルダー毎に整理するため、「カスタム情報検索」を活用して、データのフォルダー分けをします。
 まず、[カスタム情報] 欄の「無題」で右クリックし、「新規フォルダー」をクリックし、[新しいフォルダー] を作成。
 [新しいフォルダー] を右クリックして、「名前の変更」でフォルダー名（例：千代田区）を入力します。



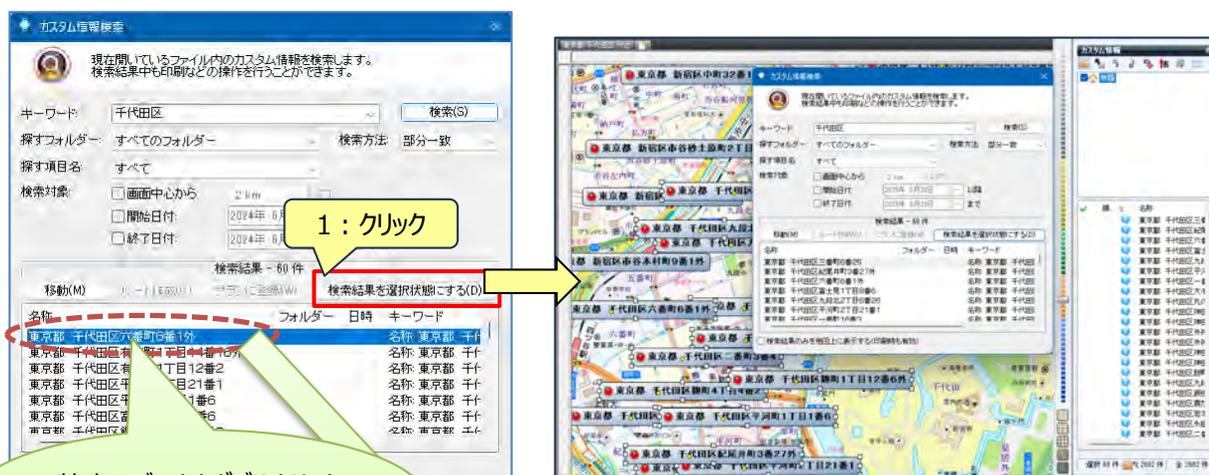
- ⑥ 「カスタム情報」を目的に応じたデータを検索しフォルダー分けをします。

アイコンをクリックし、[カスタム情報検索] を開き、[キーワード] に「名称」を入力（例：千代田区）し、設定は「すべてのフォルダー、部分一致、すべて」で行い、[検索] をクリックします。



- ⑦ 入力された「例：千代田区」で検索されます。

[検索結果を選択状態にする] を「1：クリック」し、検索されたデータがすべて「選択状態」になります。



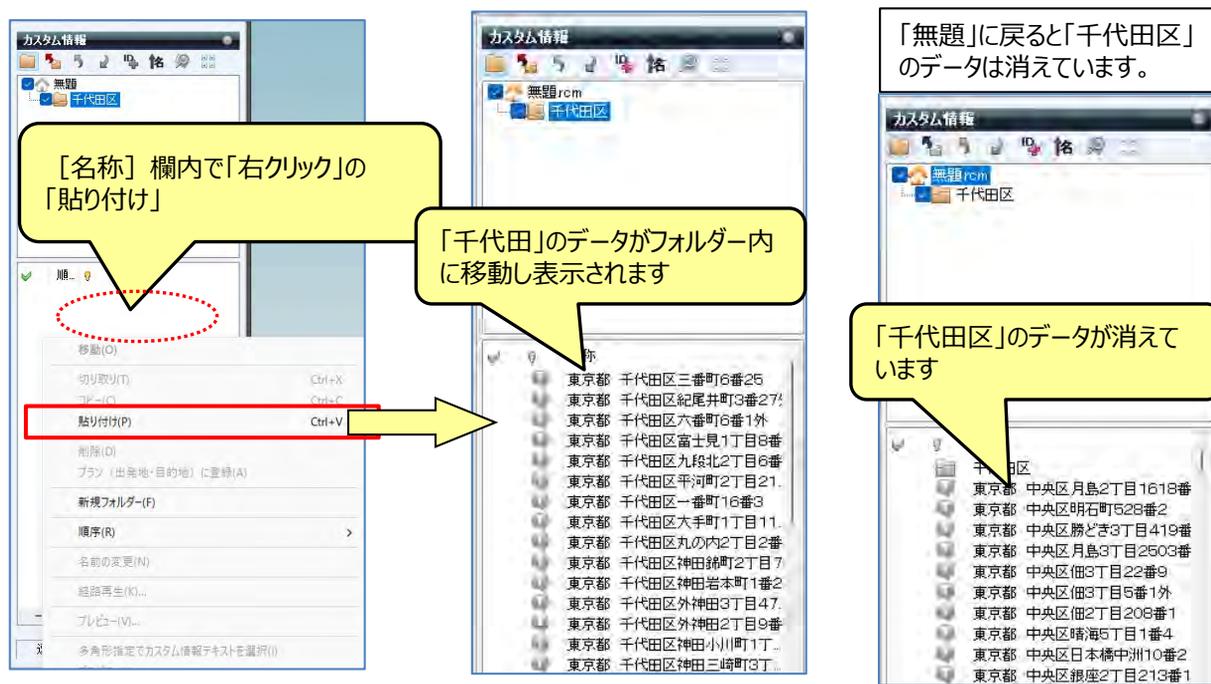
特定のデータをダブルクリックすると、該当の場所へ移動



⑧ 選択状態の「カスタム情報」を「右クリック」でメニューから「切り取り」を選択します。



⑨ 「千代田区」フォルダーを選択し、[名称] 欄で右クリックの「貼り付け」でデータが移動します。



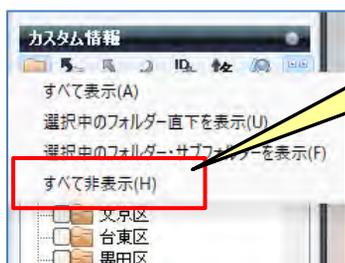
【ポイント】

続けてフォルダーを作成する場合は、その上位のフォルダーをクリックして作成します。
 千代田区に続けて中央区以降を作成の場合は、「①～⑤」を参考に作成してください。
 ※手順：「無題」の「新規フォルダー」⇒「名前の変更」⇒「中央区」となります。

番外編 フォルダーを選択表示

- ① データを複数のフォルダで管理されている場合は [カスタム情報欄] の で「すべて非表示」にし、該当フォルダを選択し地図表示ができます。

※情報が見やすいように地図スタイルを [白図表示] にしています。



「すべて非表示」で、地図上からデータが消えます。



「千代田区」に☑すると千代田区のみが地図に表示されます。



「千代田区」を表示しています。

【ご注意】
スーパーマップル・デジタル25以前のバージョンは、複数選択に対応していません。



「千代田区」に「中央区」をプラス☑すると中央区も千代田区と共に地図に表示されます。



「中央区」も表示しています。

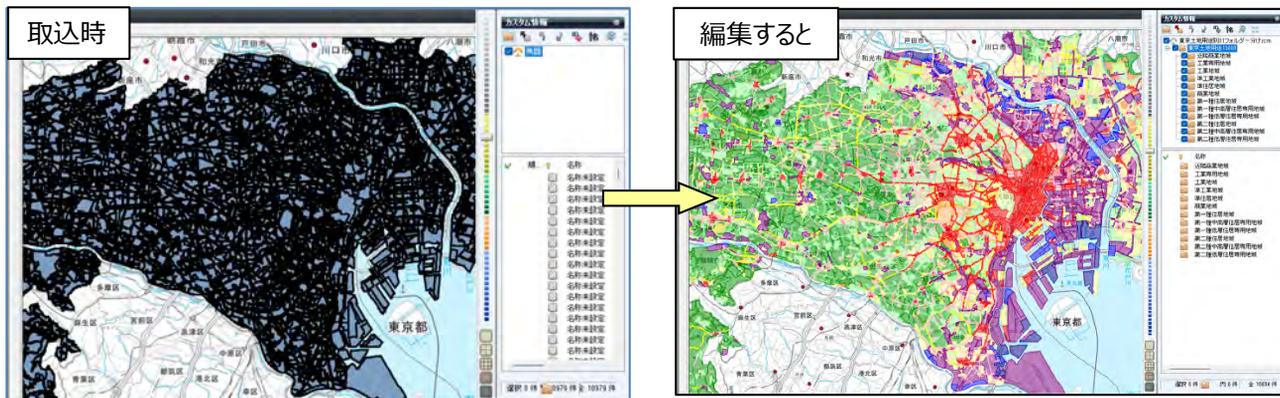
【参考】

[カスタム情報] 欄のフォルダ名の中の は地図表示のON,OFFになります。
フォルダ名称が で囲まれているフォルダは [名称] 欄にデータ名称が表示されます。

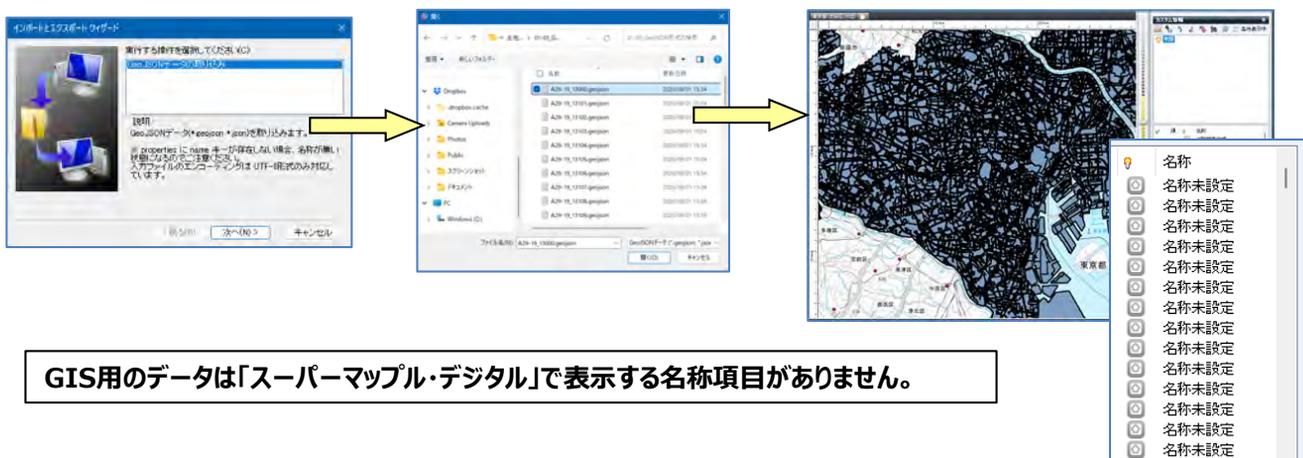


で囲まれた「フォルダ」内のデータ名称を表示

■ KLM/GeoJSON/SHPの「ポリゴン」ファイル取込みとデータ/フォルダー整理 (GeoJSONはV22以降/SHPはV25以降)



- ① スーパーマップル・デジタルを起動し [取込] の [GeoJSON] をクリックし、[次へ] で任意のファイル開きます。
 例：国土数値情報オープンデータの「A29-19_13000.geojson」を使用します。
 ※国土数値情報のオープンデータは、「名称」がなく、取込時には「名称未設定」となります。

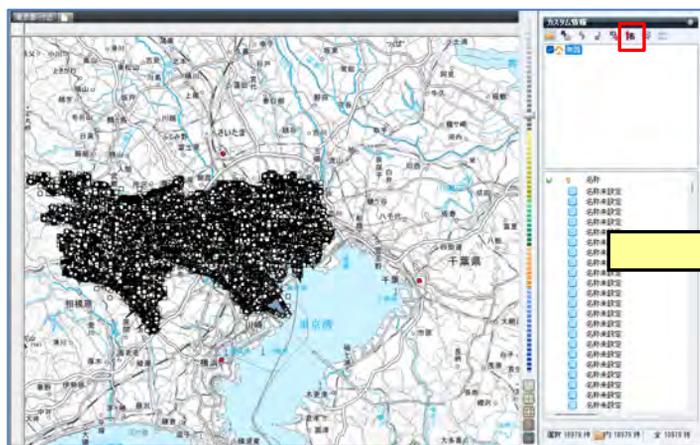


GIS用のデータは「スーパーマップル・デジタル」で表示する名称項目がありません。

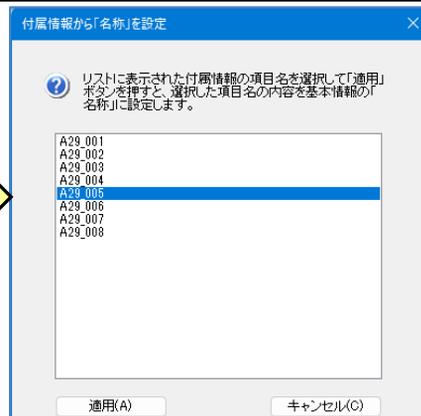
- ② で任意のデータを右クリックし、[プロパティ] を選択すると、カスタム情報の [プロパティ] 開き「内容」が表示されます。「名称」にする「項目」を確認し、[OK] で閉じます。
 例：A29_005項目に記載されている用途地域の「内容」を「名称」に設定します。



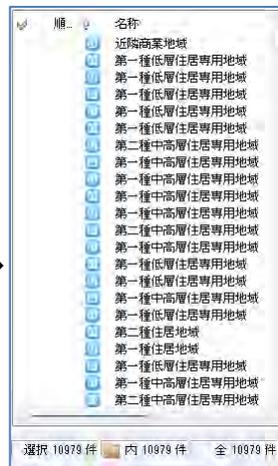
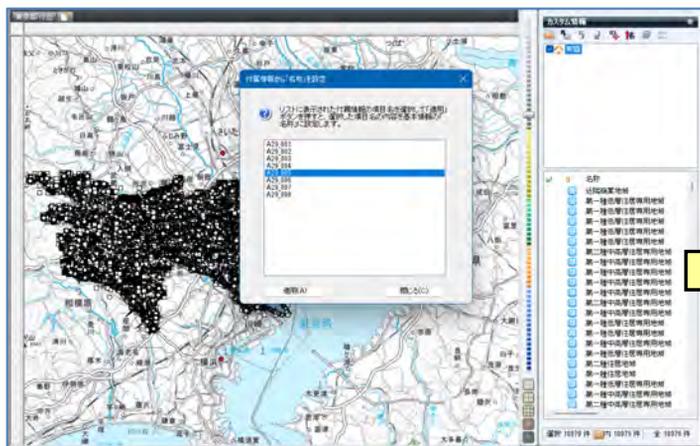
- ③ 「Ctrl+A」で全選択をし、[カスタム情報] 欄にある **格** をクリックします。
 [付属情報から「名称」を設定] 画面が表示されますので、②で確認した用途地域の「内容」の「A29_005」を選択し [適用] をクリックします。



注：データ量により時間を要する場合があります。



- ④ [名称] 欄の名称に「用途地域」表示されます、
 [閉じる] をクリックすると設定が完了いたします。

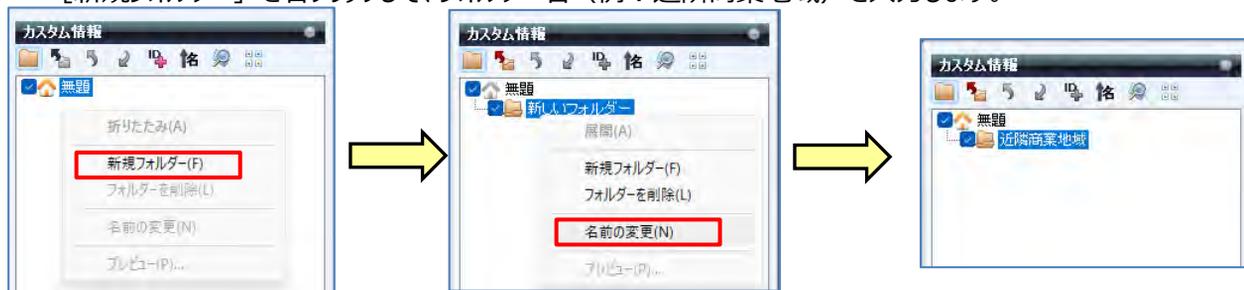


※選択を解除するには、地図上をクリックし「Esc」キーで解除

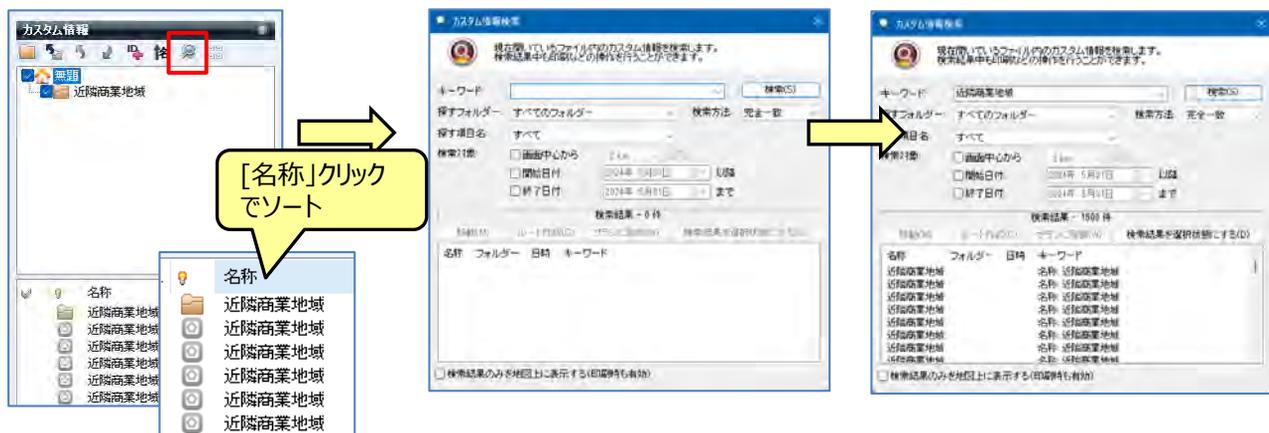


- ⑤ 「用途地域」データを用途別にフォルダー分けにします。
 カスタム情報欄で右クリックし、新規フォルダーをクリック。

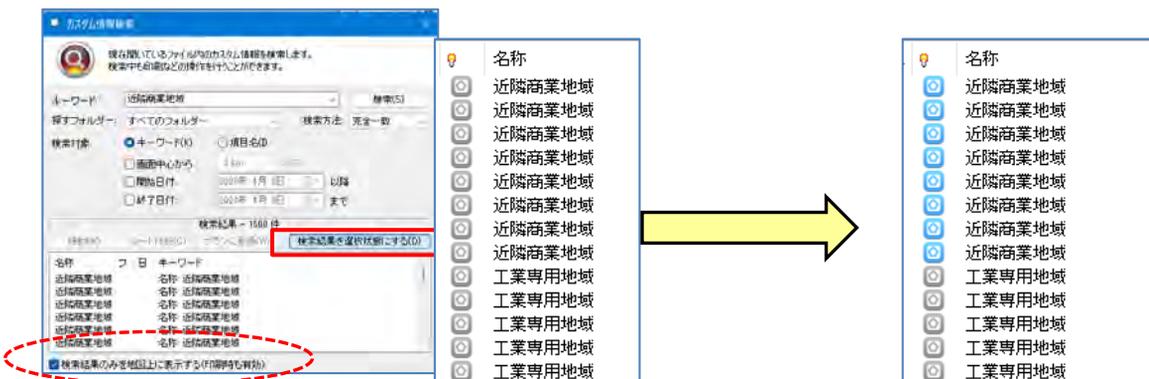
「新規フォルダー」を右クリックして、フォルダー名（例：近隣商業地域）を入力します。



- ⑥ [無題] で「名称」欄をクリックすると、「名称」がソートされ作業が行いやすくなります。
 をクリックで「カスタム情報検索」を開き、[キーワード] に「近隣商業地域」を入力 [検索] をクリック。
 ※例：設定は「すべてのフォルダー、完全一致、すべて」で行います。

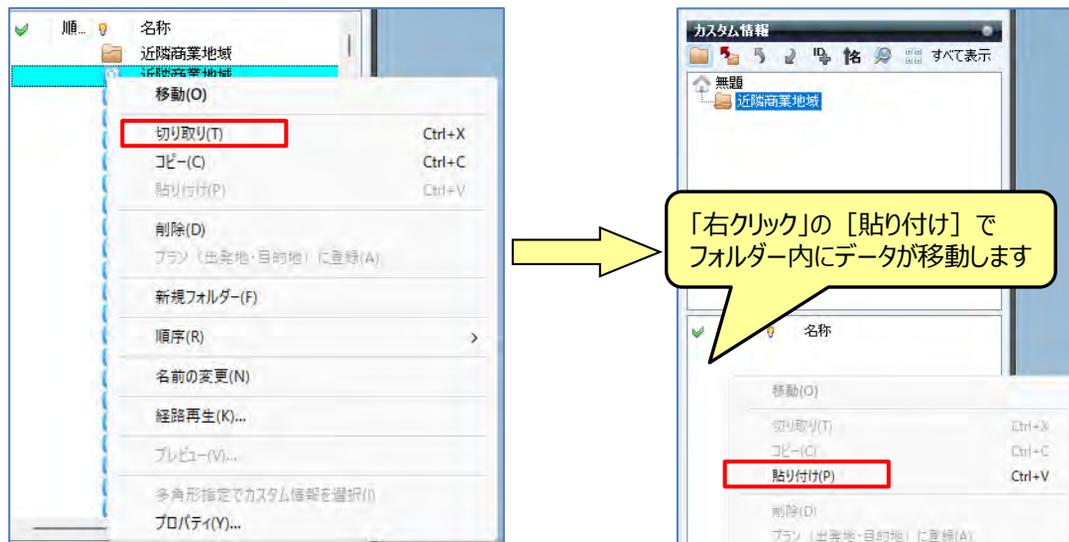


- ⑦ 入力された「近隣商業地域」で検索されます。
 「検索結果を選択状態にする」をクリックすると、該当データが選択されます。

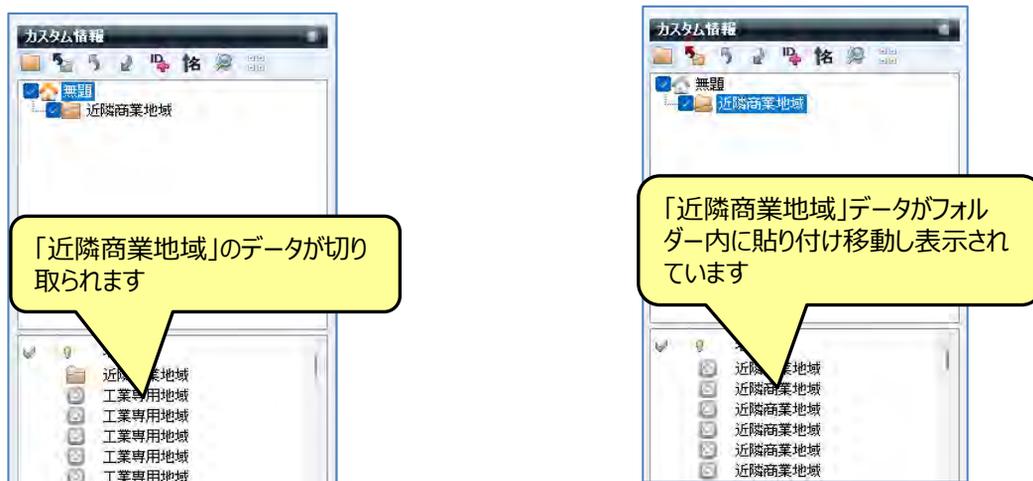


※「カスタム情報検索」画面下の「検索結果のみを地図上に表示する」にを入れると、該当データのみを地図表示します。

- ⑧ 検索された該当データ上で右クリックして、[切り取り] を選択します。
「近隣商業地域」フォルダーをクリックし、[名称] に [貼り付け] ます。



- ⑨ 貼り付け後、確認するため 無題 ホームをクリックし情報を表示します。
次に「近隣商業地域」フォルダーをします。



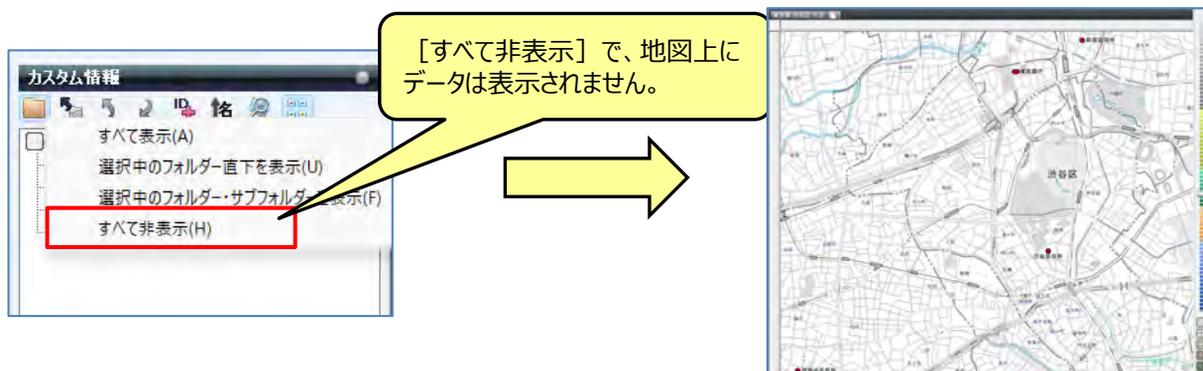
【ポイント】新規フォルダーを作成する場合は、その上位のフォルダーをクリックして作成します。
「近隣商業地域」に続けて「工業専用地域」以降を作成の場合
※手順：「無題」の「新規フォルダー」⇒「名前の変更」⇒「工業専用地域」となります。



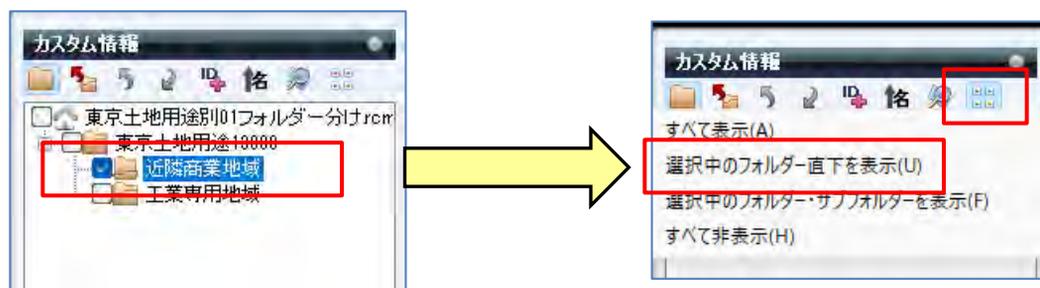
※「フォルダー分け」することによりデータ整理ができ、後の仕事も行いやすくなります。

【「フォルダー」分けしたデータ選択とを目的に合わせた「色」分け】

① 【カスタム情報欄】の  を活用すると、該当のフォルダーの地図表示ができます。

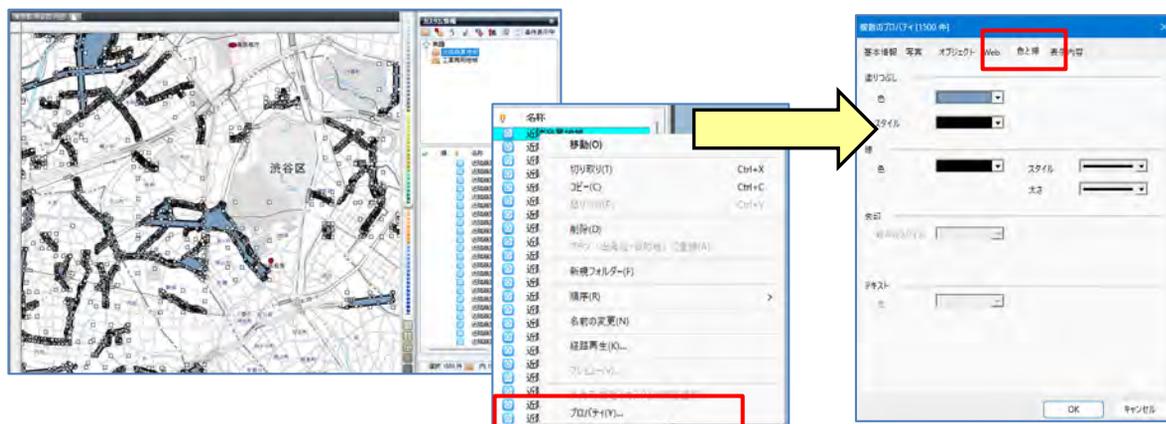


【ポイント】「フォルダー」内のデータを編集する場合は、該当フォルダー名称をクリックし、【カスタム情報】欄の  から「選択中のフォルダー直下を表示」選択します。

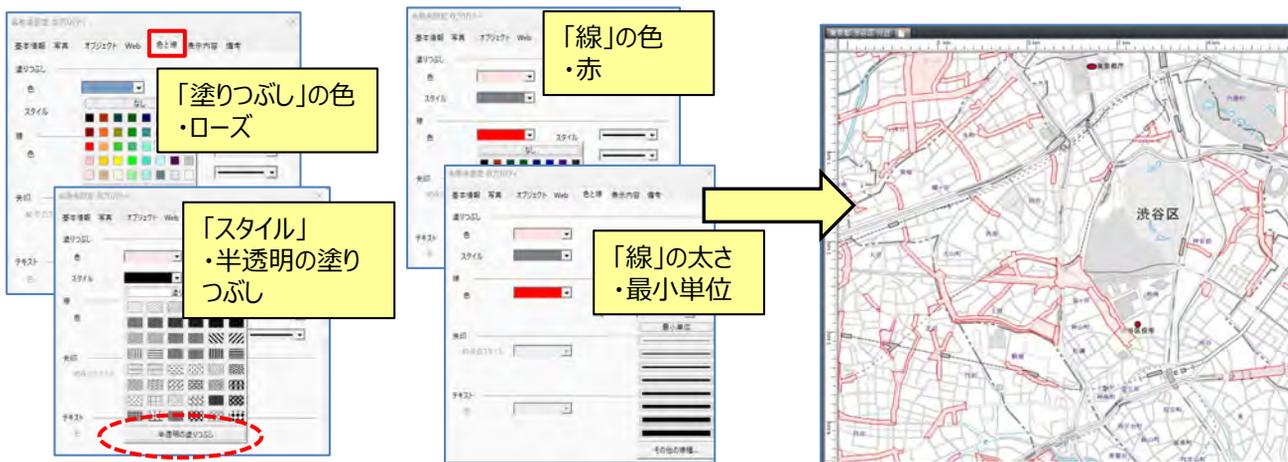


【参考】「フォルダー名称」が  となっている場合は「選択中」となります。

② 「Ctrl+A」で全選択をし、右クリックで「プロパティ」を選択します。
【プロパティ】の「色と線」タブで、色と線の太さなどを設定します。



③ 各項目を設定し「OK」をクリックします。

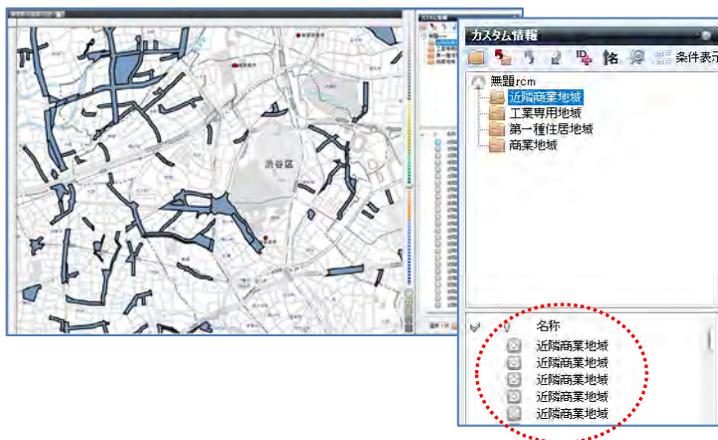


④ 「近隣商業地域」以外の地域も①～③を繰り返す行により、ポリゴンを任意の色にすることができます。

※表示方法を試してください。イメージがつかめるので、実際に表示方法を変更されることをおすすめします。

⑤ 画面左上のマッフルボタン をクリックし「名前を付けて保存」を選択。スーパーマップル・デジタル用ファイル「カスタム情報」として保存してください。作業を途中で終了するときも「保存」してください。後に保存したカスタム情報（rcmファイル）で続けることができます。

【参考】「フォルダー名称」が となっている場合は「名称」欄に該当データ名称が表示されます。



■ 各種グラフの作成

各種の情報やExcel集計データを「分布図」「円グラフ」「棒グラフ」で表示します。

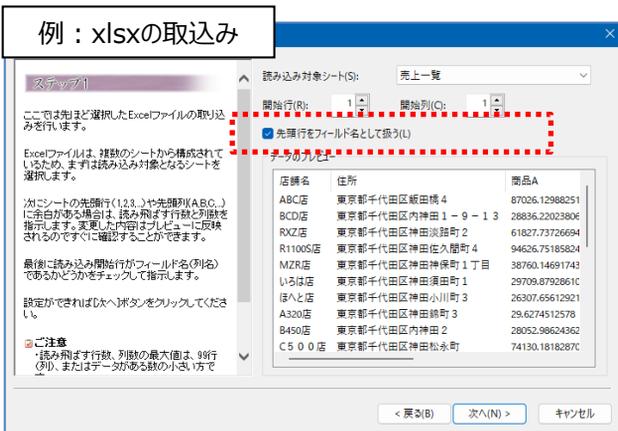
- ① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブのグラフ項目から任意のグラフを選択します。



- ② 分布図を作成してみる。
 ファイルを選択するため[参照]をクリックし、分布図で表示したいファイルを選び「開く」をクリック。
 任意のファイルを選択して、「開く」、グラフウィザード画面で[次へ]をクリックします。

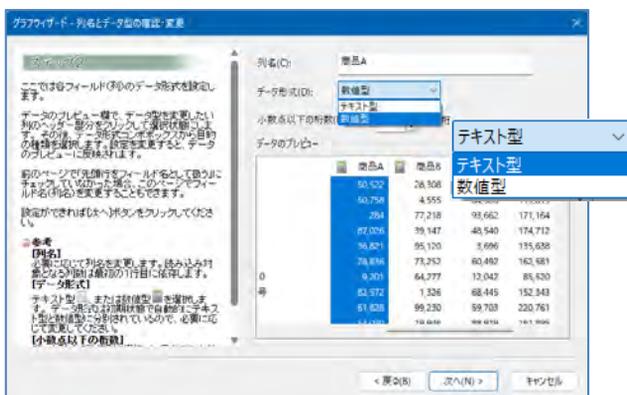


- ③ 「データのプレビュー」で表示されているデータを確認し、[次へ]。



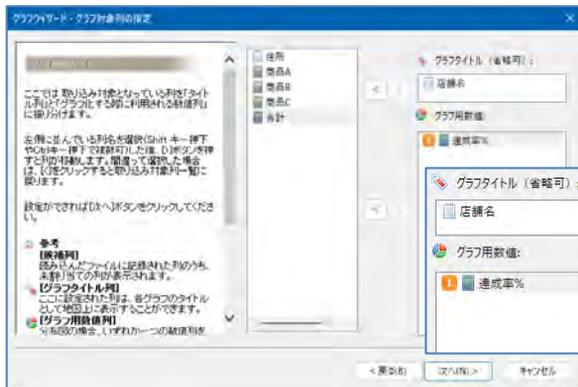
【ポイント】
 「先頭行をフィールド名として使う」に丸が入っていること。
 * フィールド名はどの列を、グラフに割り当てるか、設定するときの名称（項目名）になります。

- ④ 列名とデータ形式を確認します。
 ・項目の名称をクリックし、[データ形式]の▼でデータ形式の変更ができます。



【ポイント】
 グラフ表示にしたい「列名」が「テキスト型」だと、グラフ化ができませんので、「データ形式」で「数値型」に変更します。

- ⑤ グラフタイトルには「店舗名」や「顧客名」などを選択し、> をクリックします。
*「グラフタイトル」は省略しても構いません。



・グラフ用数値にはグラフにしたい「数値データ」を選択し、> をクリックします。

【ポイント】

数値データの取込み数は、グラフによって違います。

- ・分布図はひとつ
- ・円グラフは2～12
- ・棒グラフは1～12

- ⑥ 地図上に表示位置設定するため、フィールド名（列）を選択し、> をクリックし、[次へ]で「検証開始」を[はい]でグラフの作成は始まります。

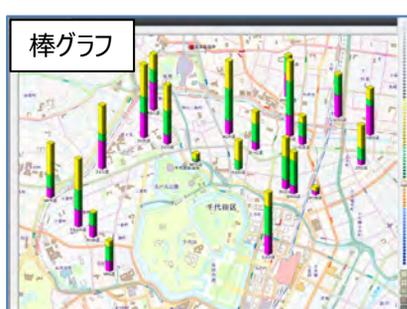


【ポイント】

座標が設定されていない場合は、「住所」で位置の特定を行ないます。

郵便番号は、おおよその位置になります。

- ⑦ 分布図が表示されます。「円グラフ」「棒グラフ」も同じ手順で行うことができます。

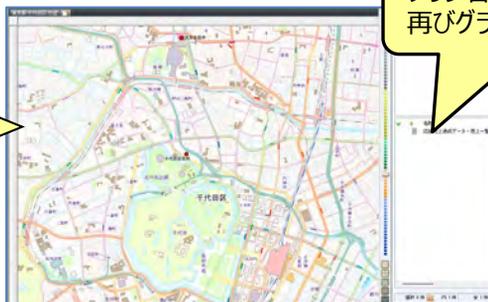


【ポイント】

・表示後「プロパティ」で「グラフの色」「グラフのサイズ」を設定することにより、表示バランスを変更することができます。

- ⑧ 「カスタム情報一覧に戻る」をクリックすると、通常の画面に戻ります

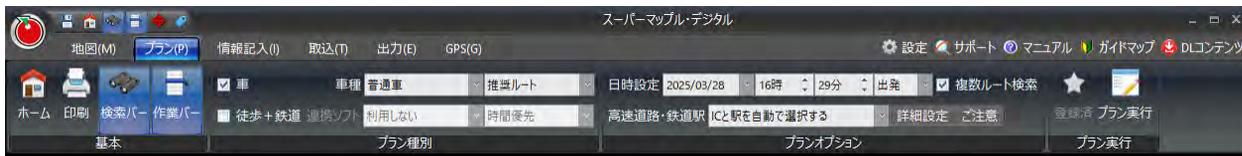
ID	店舗名	商品A	商品B	商品C
1	ABC店	87,026	39,147	48,540
2	BCD店	28,836	73,252	60,492
3	RXZ店	61,828	99,230	59,703
4	R1100S店	94,627	20,903	35,625
5	MZR店	38,760	94,083	81,828



グラフ名称をWクリックすると再びグラフを表示します

■「行動計画」プランニング

- ① 「プラン」タブをクリックし、検索バー・作業バーもONにして、検索バー、作業バーも表示されるようにします。



- ② 作業バーから「右の[+]ボタンを押して出発地を追加」にあるアイコンをクリックし、「地図上の中心」を選択すると、出発地が登録されます。



地図を大きく移動するときには、Wクリックしてください。

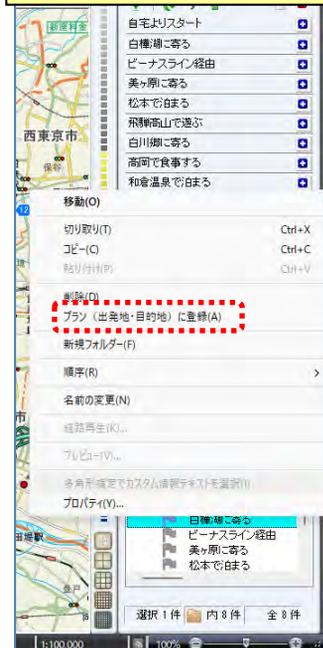
地図上で「右クリック」し、登録することもできます。



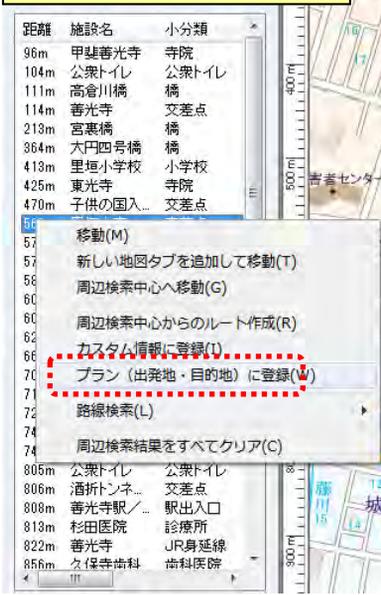
- ③ 地図を移動し、「目的地」も同じように登録を行います。地図移動させ「②の操作」を繰り返します。
 ※スーパーマップル・デジタル26より、高速道路上の「PA・SA」も経由地、目的地の設定できます。
 ④ 各条件を設定してプラン実行をクリックします。

★各種情報を「プランに登録」ができる方法（右クリックを使う）

「カスタム情報」を右クリックし「プラン（出発地・目的地）に登録」



「検索結果」から右クリックし「プラン（出発地・目的地）に登録」

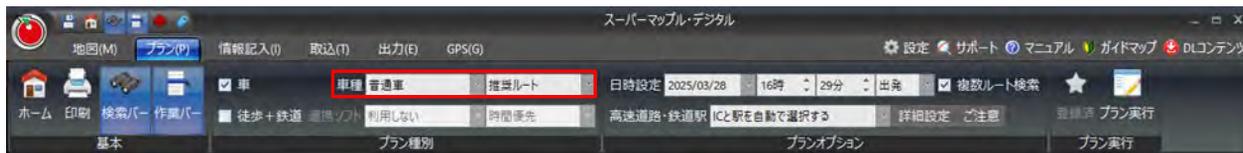


「周辺検索」結果の地図上から右クリックで「プラン（出発地・目的地）に登録」

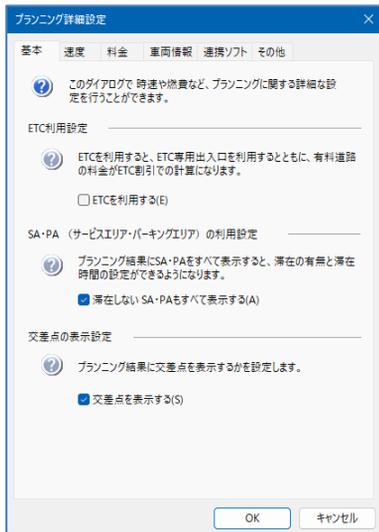


⑤ 移動手段の設定を行います。

例：「車」に☑を入れます。「車種」「優先変更」を行う時は、▼ボタンを押し、選択します。



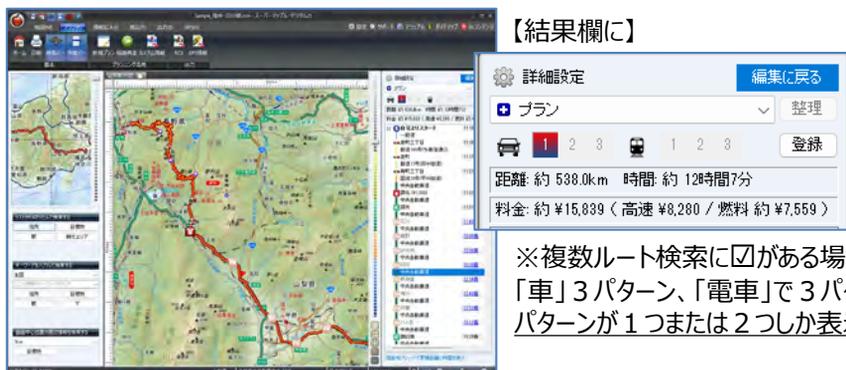
⑥ 「車」での「詳細設定」で、各種の条件を設定できます。



- S A ・ P A での休憩を設定
- E T C 利用などの設定
- 時速、燃費などの設定が出来ます。

【ポイント】
 「車」でのルート検索には、「道路交通規制情報」が採用されています。
 ※ [車両情報] では、車両の「大きさ」や「危険物」の有無などの設定が可能です。

⑦ 設定後「プラン実行」をクリックすると、結果が表示されます。

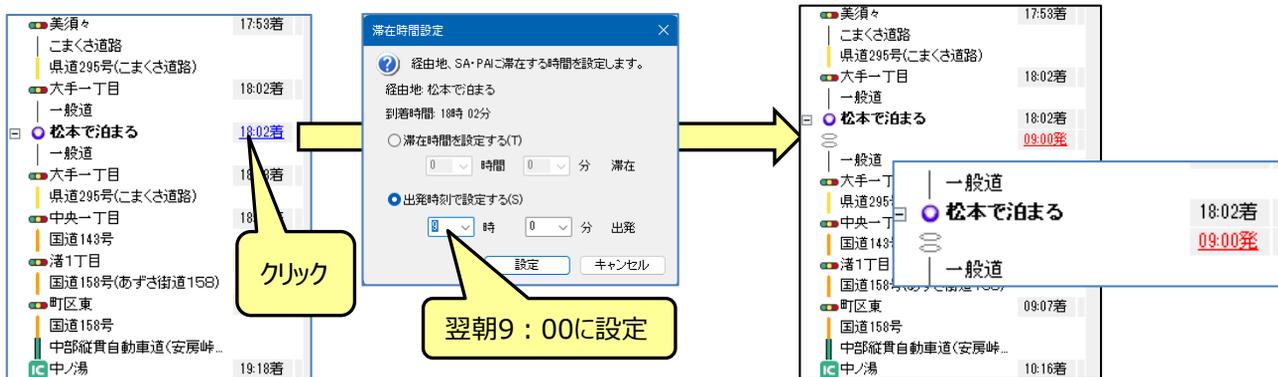


【結果欄に】

※複数ルート検索に☑がある場合は、「車」3パターン、「電車」で3パターンまでの結果を表示いたします。パターンが1つまたは2つしか表示されない場合もあります。

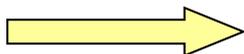
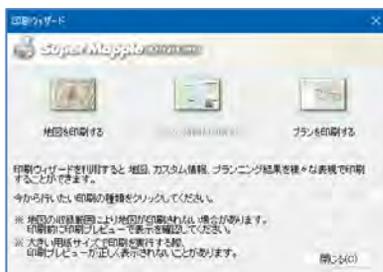
※「有料道路料金」につきましては、実際の料金と異なる場合があります。

⑧ 時間管理も速やかに、休憩時間、翌朝の出発時間を設定した計画が出来ます。

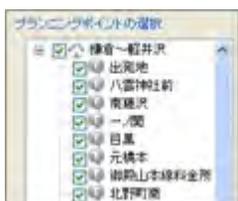


■ 計画・地図の印刷

- ①  アイコンをクリックすると、印刷ウィザードが表示されますので、[プランを印刷]を選択してください。



【プランニングのポイントの選択】
☑されているものが印刷されます



【印刷スタイル】
好みの印刷スタイルを選択します



【印刷プレビュー】をクリックすると
印刷イメージが把握できます



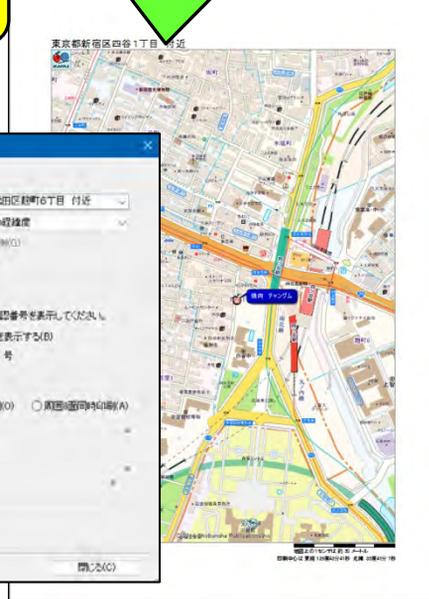
- ② PC画面で表示されないエリアを印刷時に印刷する

例：PC画面は1/3000で家形が表示されるが1/5000では表示されない、1/5000のエリアで家形も印刷したい。

PC画面上1/3000で家形
表示での印刷の場合

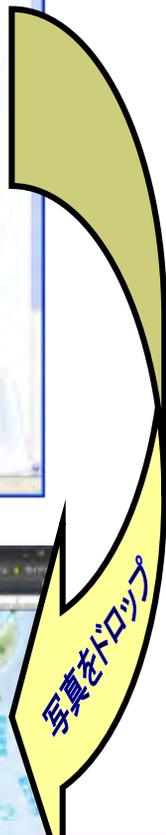
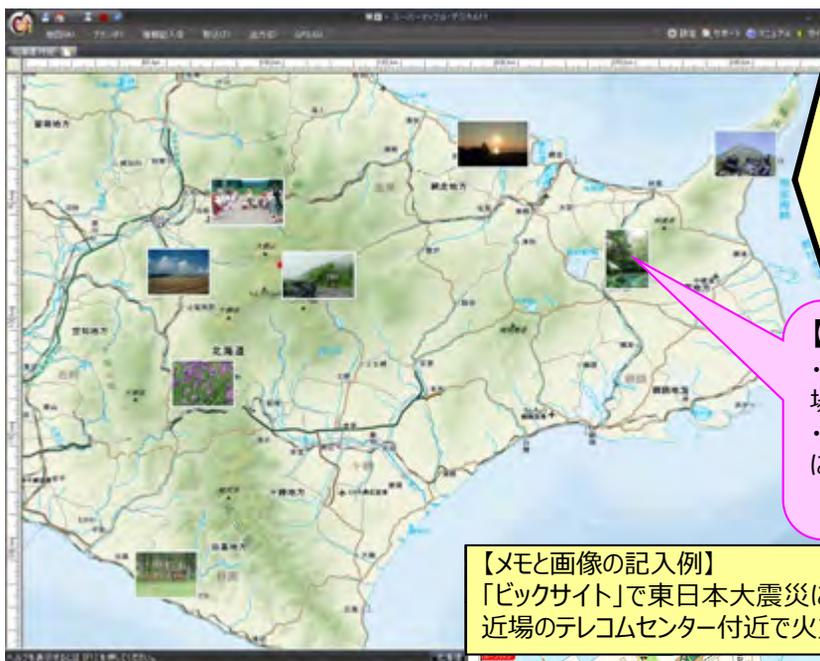
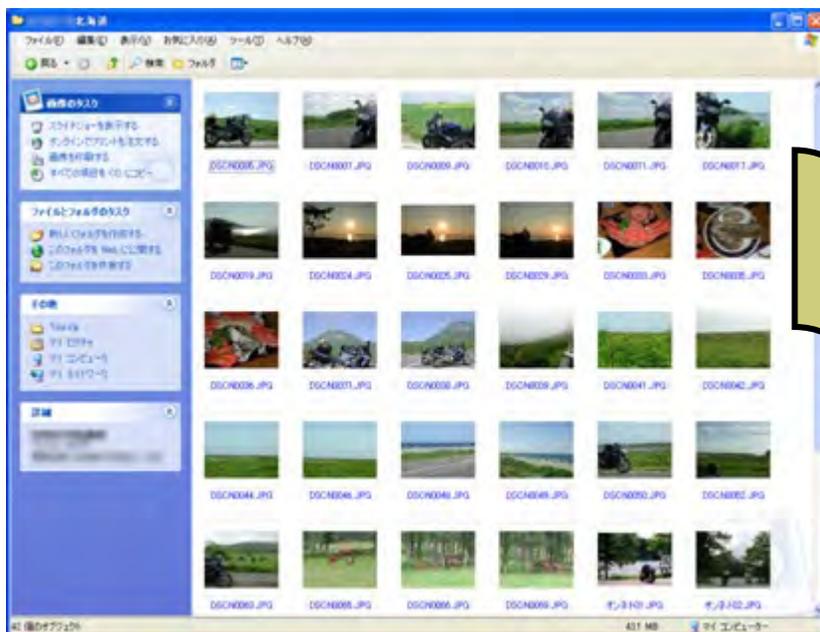
 アイコンをクリックし
1/5000にすると家形も
印刷可能

印刷時に1/5000で家形表示
での印刷



■ 画像データ（情報）の取り込み

① 画像の取込みはメニューから操作せず、パソコンに保存したデジカメ画像を地図上に直接ドラッグ＆ドロップします。



【ポイント】

- ・画像に「経度・緯度」が添付されている場合は、自動的に配置されます。
- ・経度緯度が無い場合は、任意の位置にドラッグ＆ドロップ（配置）してください。

【メモと画像の記入例】
「ビックサイト」で東日本大震災に遭う。
近場のテレコムセンター付近で火災



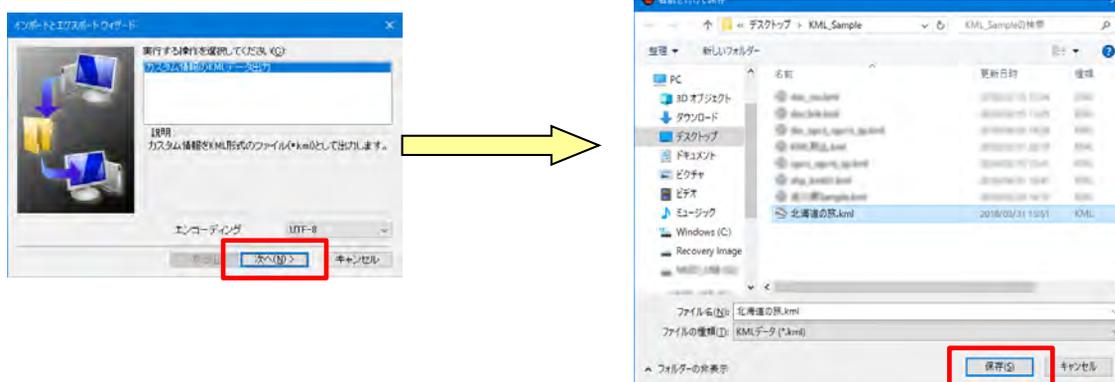
表示されている画像を アイコンでクリックすると大きく表示されます。

■ KML/GeoJsonファイル出力（GeoJSONはV22以降）

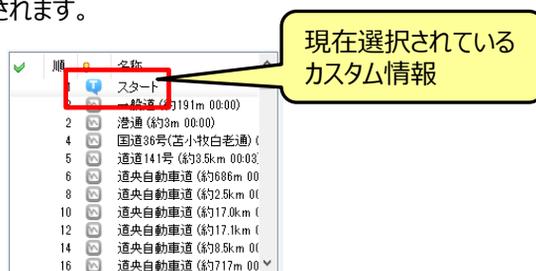
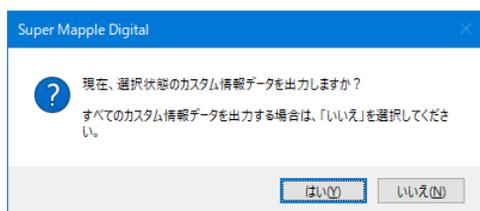
- ① スーパーマップル・デジタルを起動し、KML/GeoJSONファイルとして出力したい「カスタム情報」画面に表示し、[出力]の[KML/GeoJSON]をクリックします。



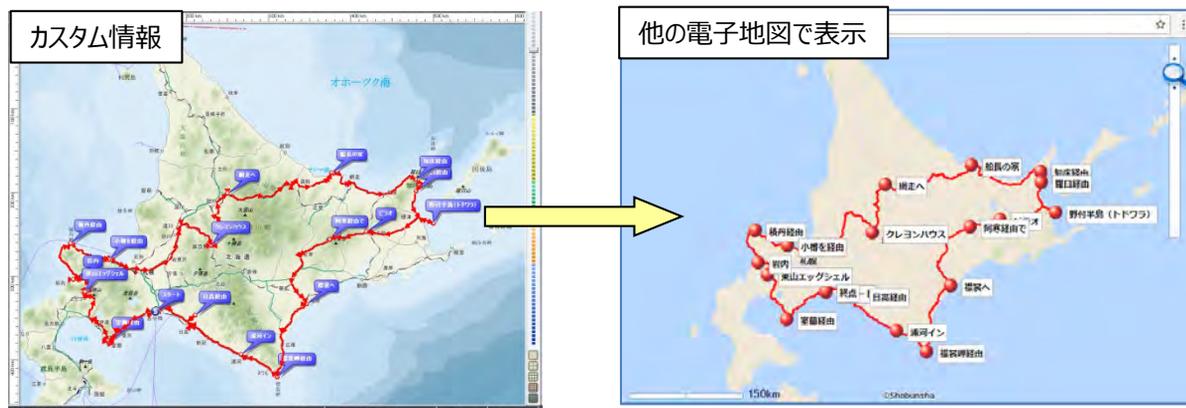
- ② 「カスタム情報のKML/GeoJSON」出力を確認し [次へ] をクリックし、「ファイル名」を入力後[保存]をクリックします。
※KMLファイル (*.kml)として保存できます。



- ③ この画面が表示される場合、「はい(Y)」は現在選択されている「カスタム情報」だけが出力されます。
「いいえ(N)」は表示されている「カスタム情報」すべてが出力されます。

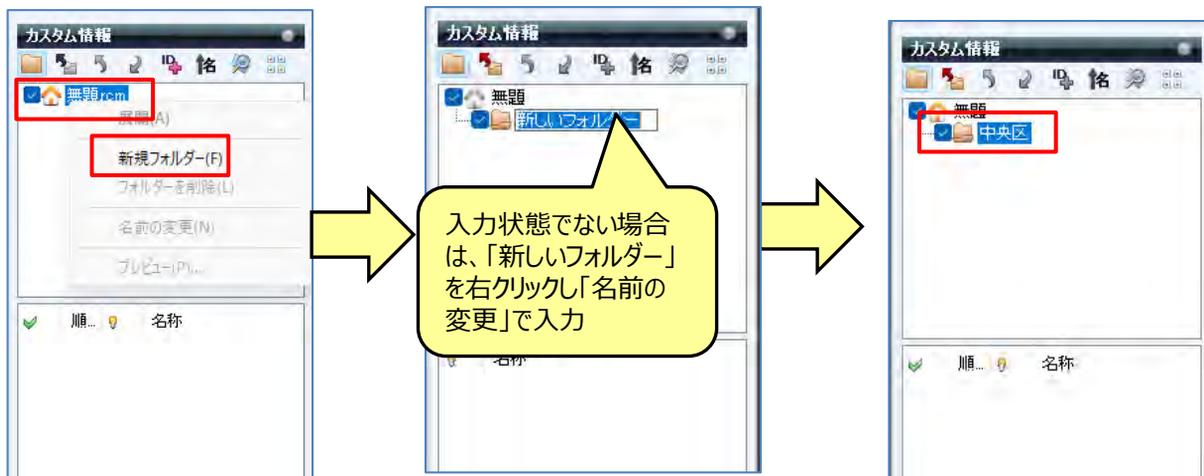


- ④ KML/GeoJSONファイルを他の地図で表示ができます。

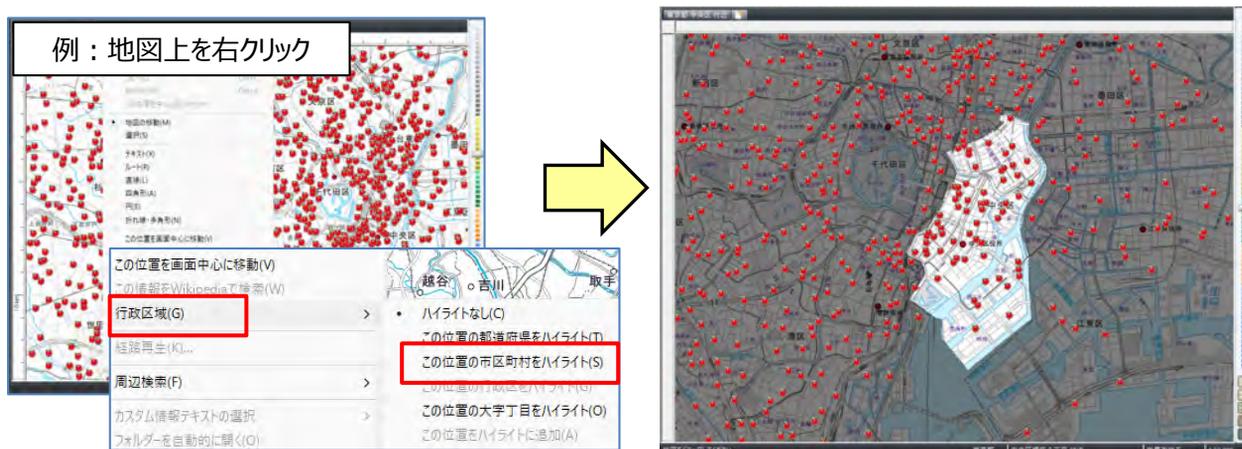


■ 行政区域内の状況を把握する(V25以降)

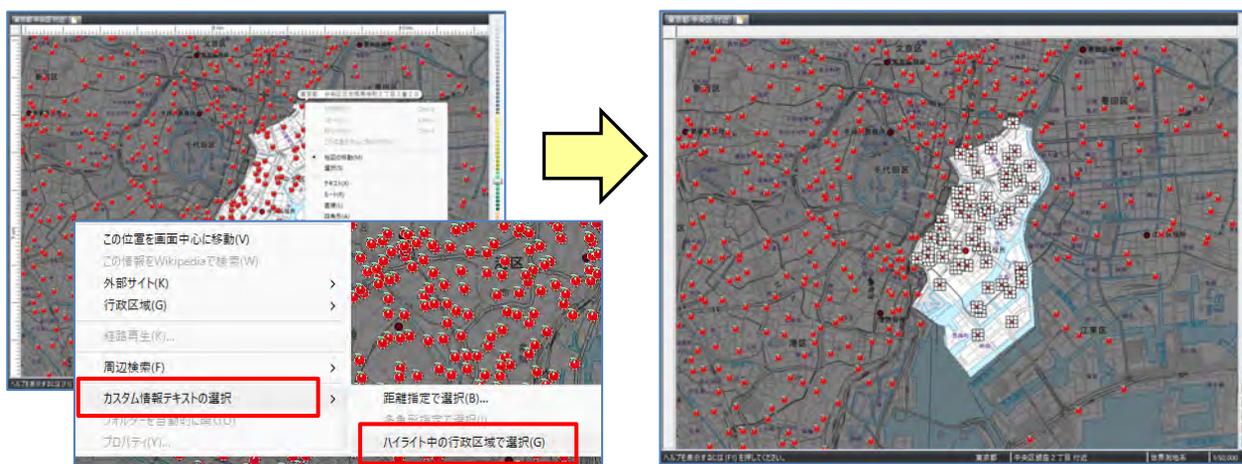
- ① 行政区域内の情報を把握するために情報を選択し、新しいフォルダーを作成し、区域内の情報を移動させます。事前に「無題」を右クリックの「新規フォルダー」に、「中央区」と入力し作成します。



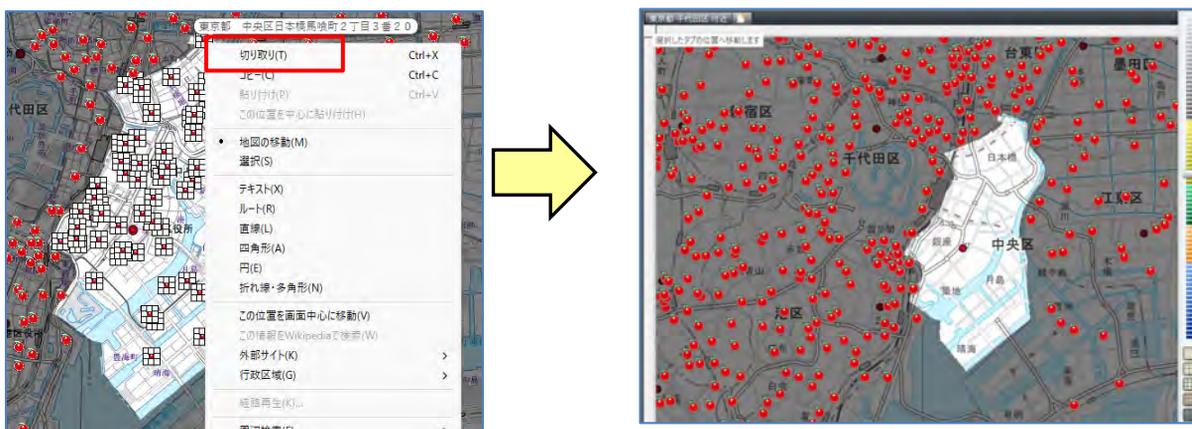
- ② 「メニュー」から[地図]の[行政区域]の  をクリックするか、地図上で [右クリック] し [行政区域] の該当項目 (この位置の市区町村をハイライト) を、選択してください。
※情報の表示は「アイコンのみ」にしてあります (P8_③の表示内容を参照)



- ③ 続けて [カスタム情報テキストの選択] の [ハイライト中の行政区域で選択] でデータが選択状態になります



④ 選択されたカスタム情報の上で、右クリックし「切り取り」します。

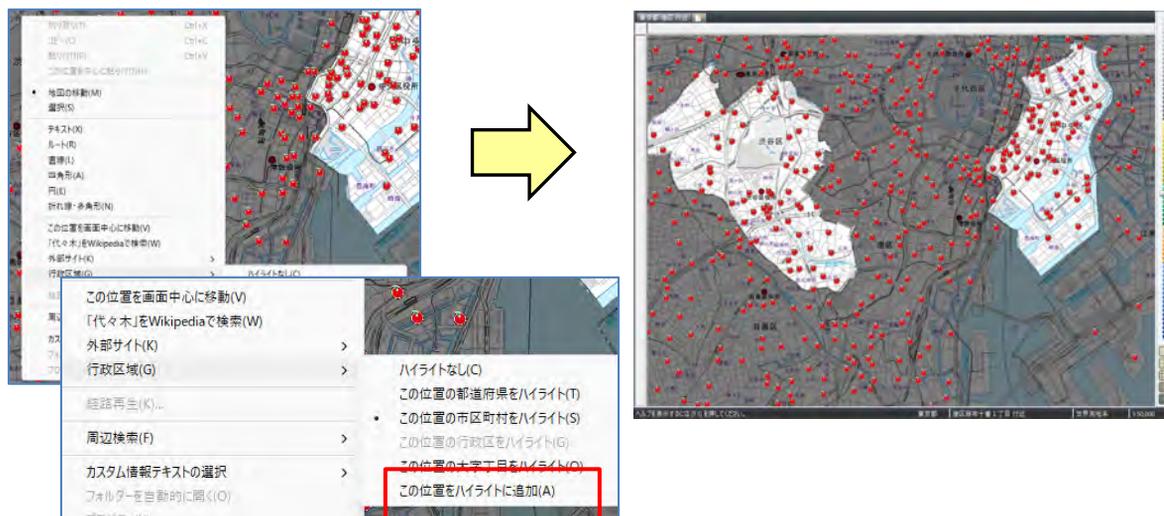


⑤ 「名称」欄の中で、右クリックし「貼り付け」しますと、「中央区」フォルダーに貼り付けられ、データ移動がされます。



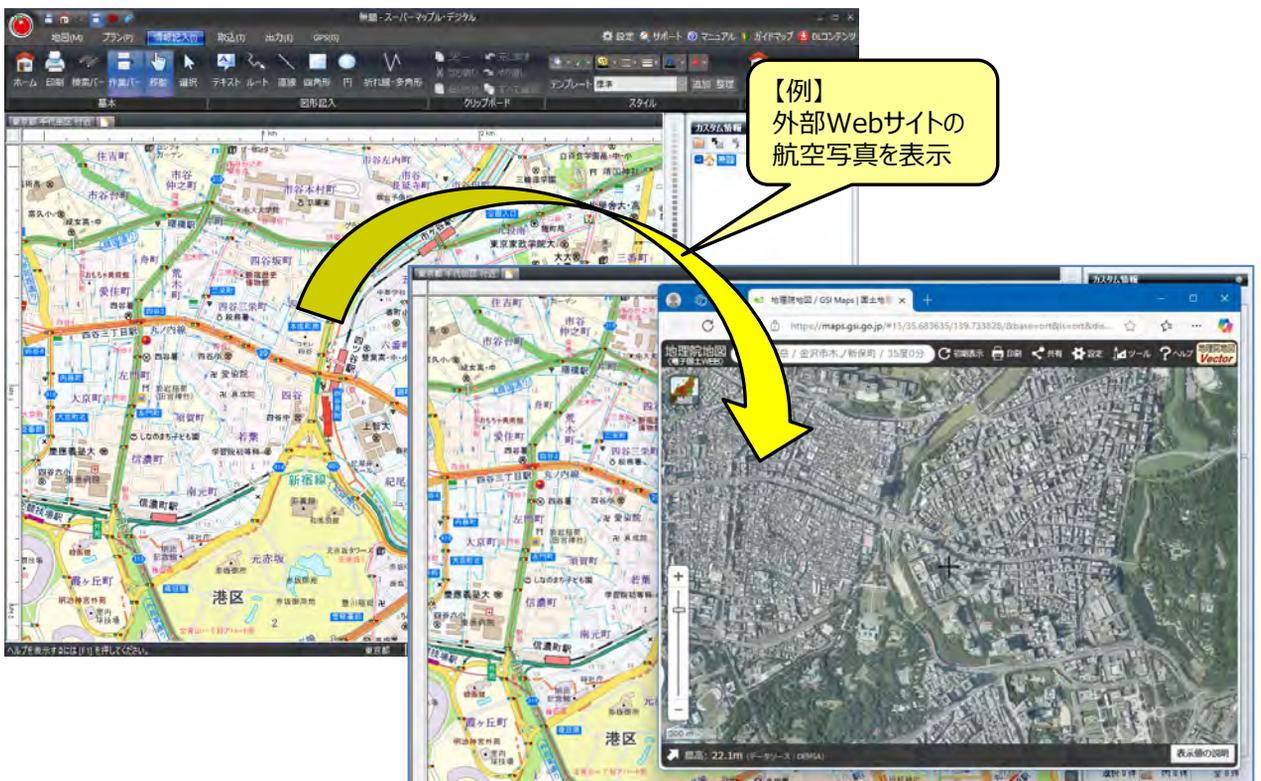
⑥ 複数の行政区域の選択も可能です。

他の行政区域の上で右クリックで「行政区域」の「この位置をハイライトに追加」をクリックします。

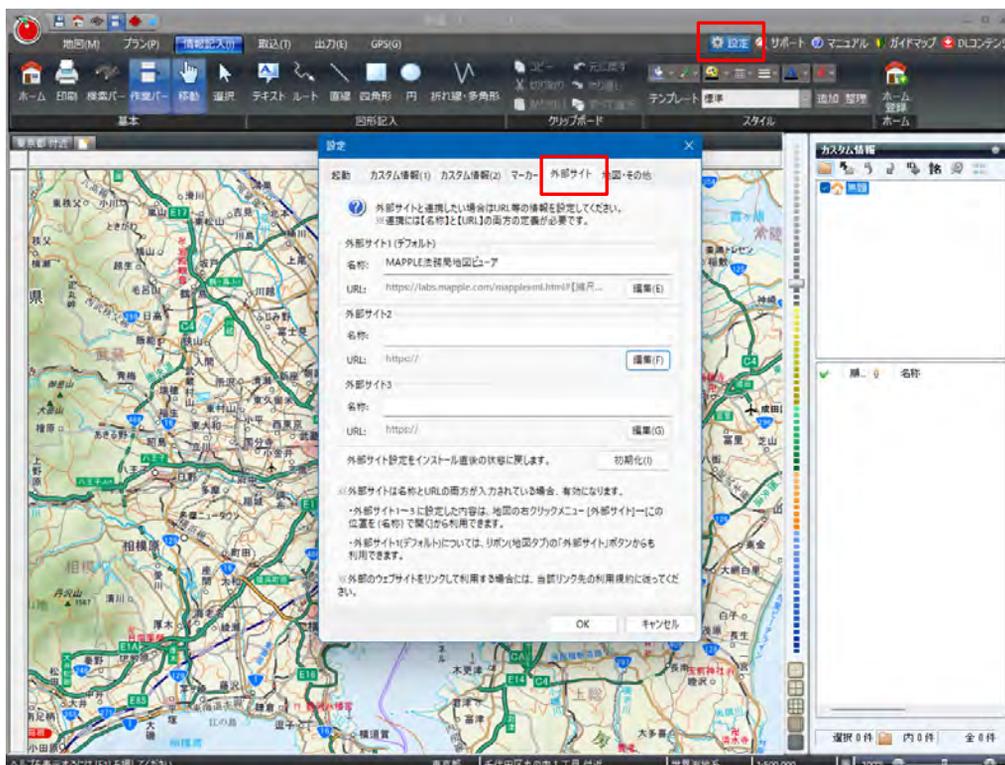


■「外部Webサイトとの連携」(V26以降)

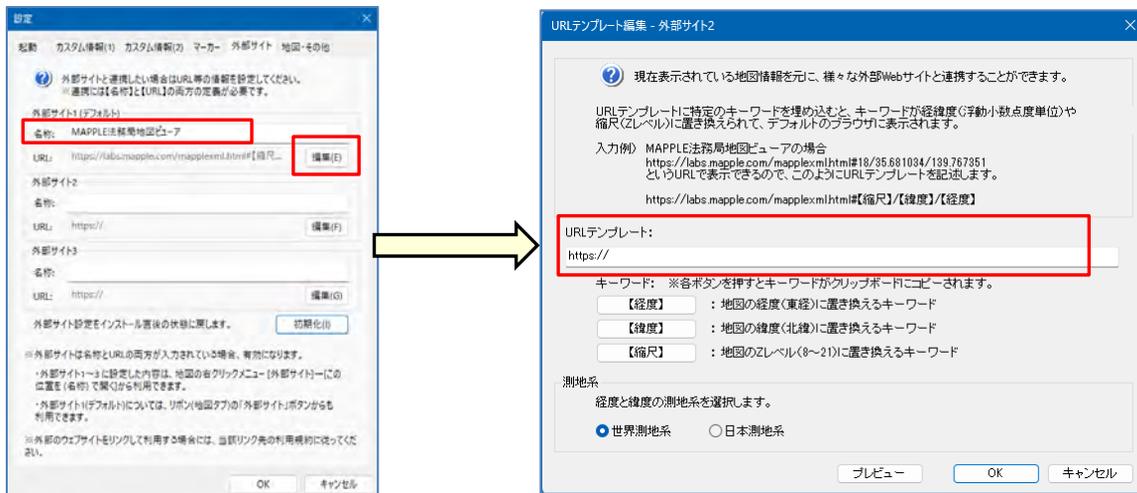
スーパーマップル・デジタルから外部のサイトを直接開く事が出来ます。



- ① メニュー右の[設定]をクリックし、「外部サイト」タブを選択して編集をします。



- ② [外部サイト] の「名称」欄にサイト名を入力し、「編集」をクリックします。
[URLテンプレート編集] で該当サイトの「URL」を入力します。



- ③ [外部Webサイト] の位置情報や縮尺（無いサイトもあり）の設定に特性がありますので、下記の例に沿って該当サイトの「URL」設定をしてください。

※赤字部分が設定箇所。「二桁」は【縮尺】、「二桁.少数点以下」は【緯度】、「三桁.小数点以下」は【経度】

・例1：【縮尺】【緯度】【経度】順に記載されている場合

https://labs.mapple.com/mapplexml.html#16/34.693122/135.194165

[編集記載]

https://labs.mapple.com/mapplexml.html#【縮尺】/【緯度】/【経度】

・例2：中ほどに【縮尺】【緯度】【経度】順に記載されている場合

https://maps.gsi.go.jp/#16/35.681300/139.767176/&base=std&ls=std

[編集記載]

https://maps.gsi.go.jp/#【縮尺】/【緯度】/【経度】/&base=std&ls=std

・例3：【縮尺】なしで【経度】【緯度】の順に記載されている場合

https://www.chikamap.jp/chikamap/Map?mid=224&mpx=135.564525&mpy=34.7325

[編集記載]

https://www.chikamap.jp/chikamap/Map?mid=224&mpx=【経度】&mpy=【緯度】

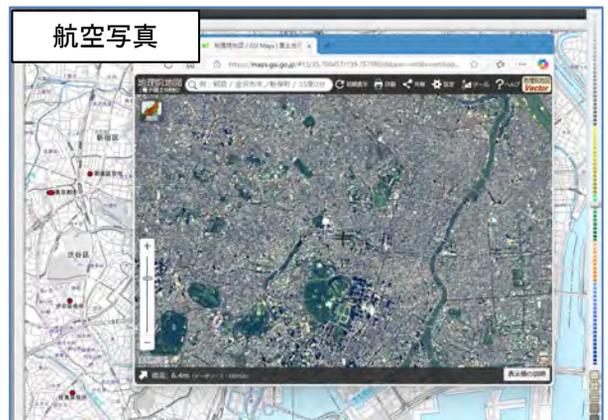
【ご注意】

外部のWebサイトをリンクして利用する場合には、当該リンク先の利用規約に従ってください。

④ [地図上で右クリックをし、[外部サイト] をクリックして、該当の外部サイトを選択する



⑤ [該当の外部サイト] がブラウザと共に表示されます。



注意事項
 製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上